

参考データ

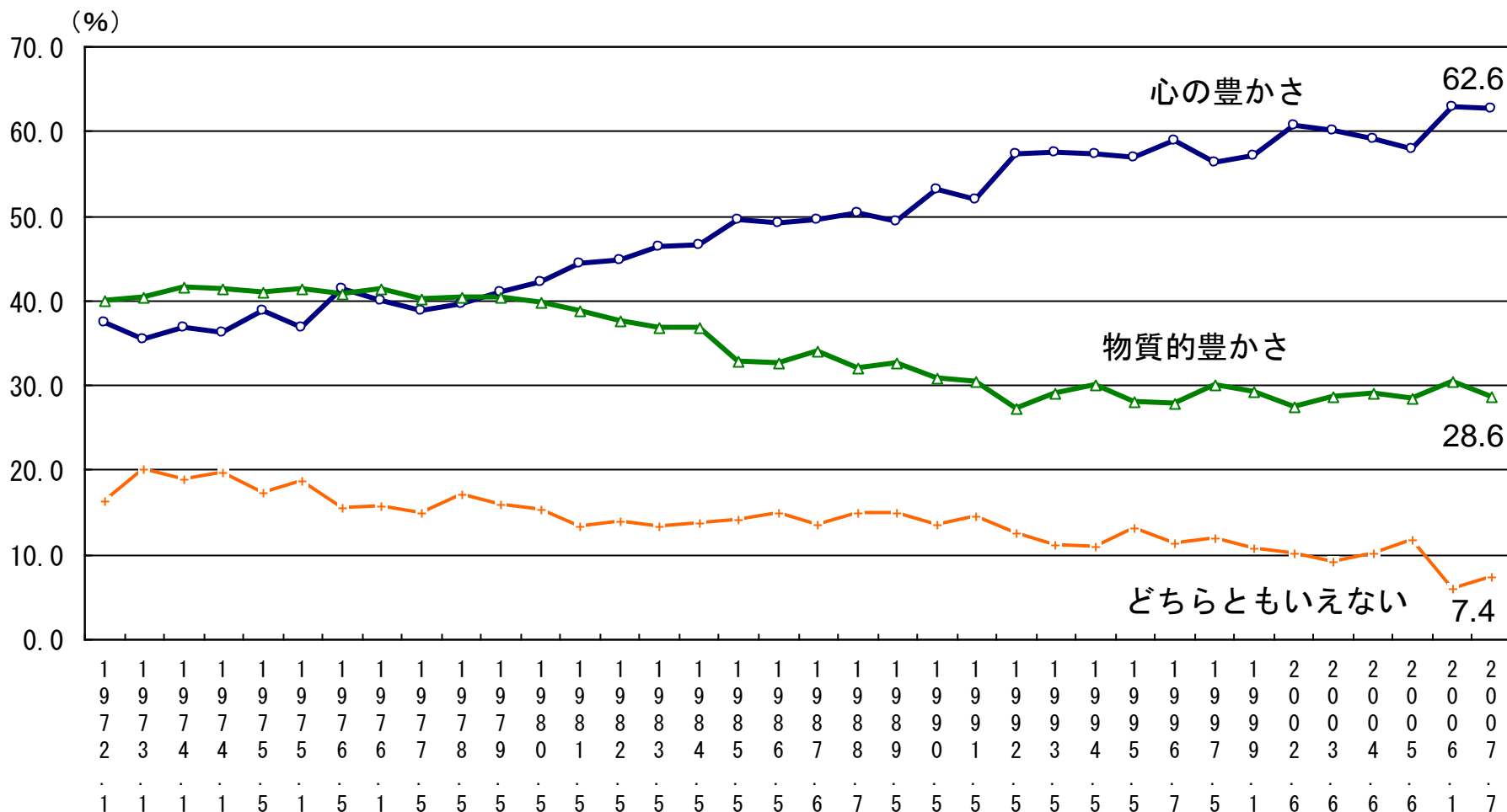
22.2.16

第5回将来ビジョン検討会議

価値観・ライフスタイルの変化

「物質的な豊かさ」と「心の豊かさ」

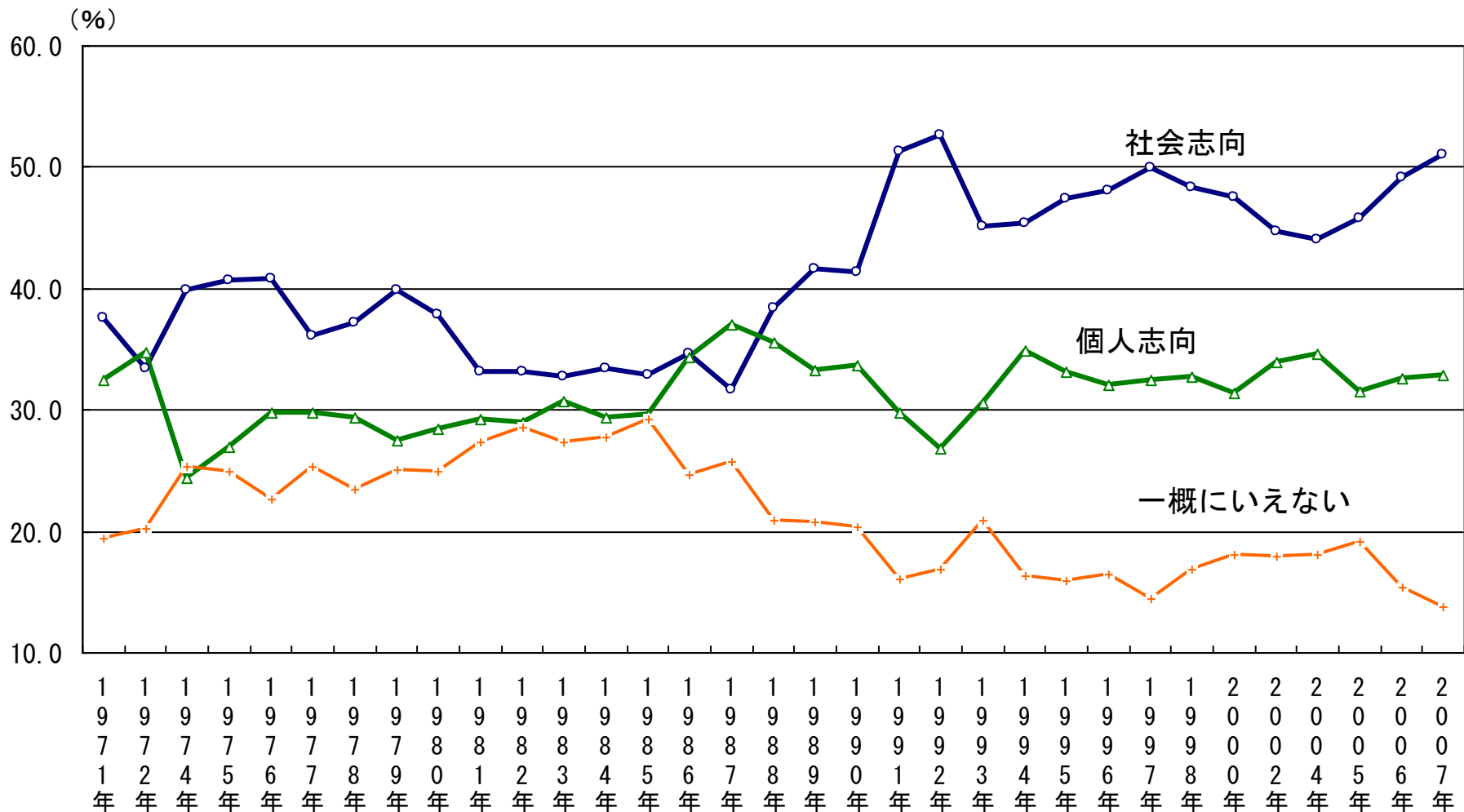
今後の生活において、心の豊かさか、物の豊かさかについて聞いたところ、「物質的に豊かになったので心の豊かさやゆとりのある生活に重きをおきたい」と答えた者の割合は62.6%。



出典：内閣府「平成20年社会生活に関する世論調査」

社会志向と個人志向に関する意識の変化

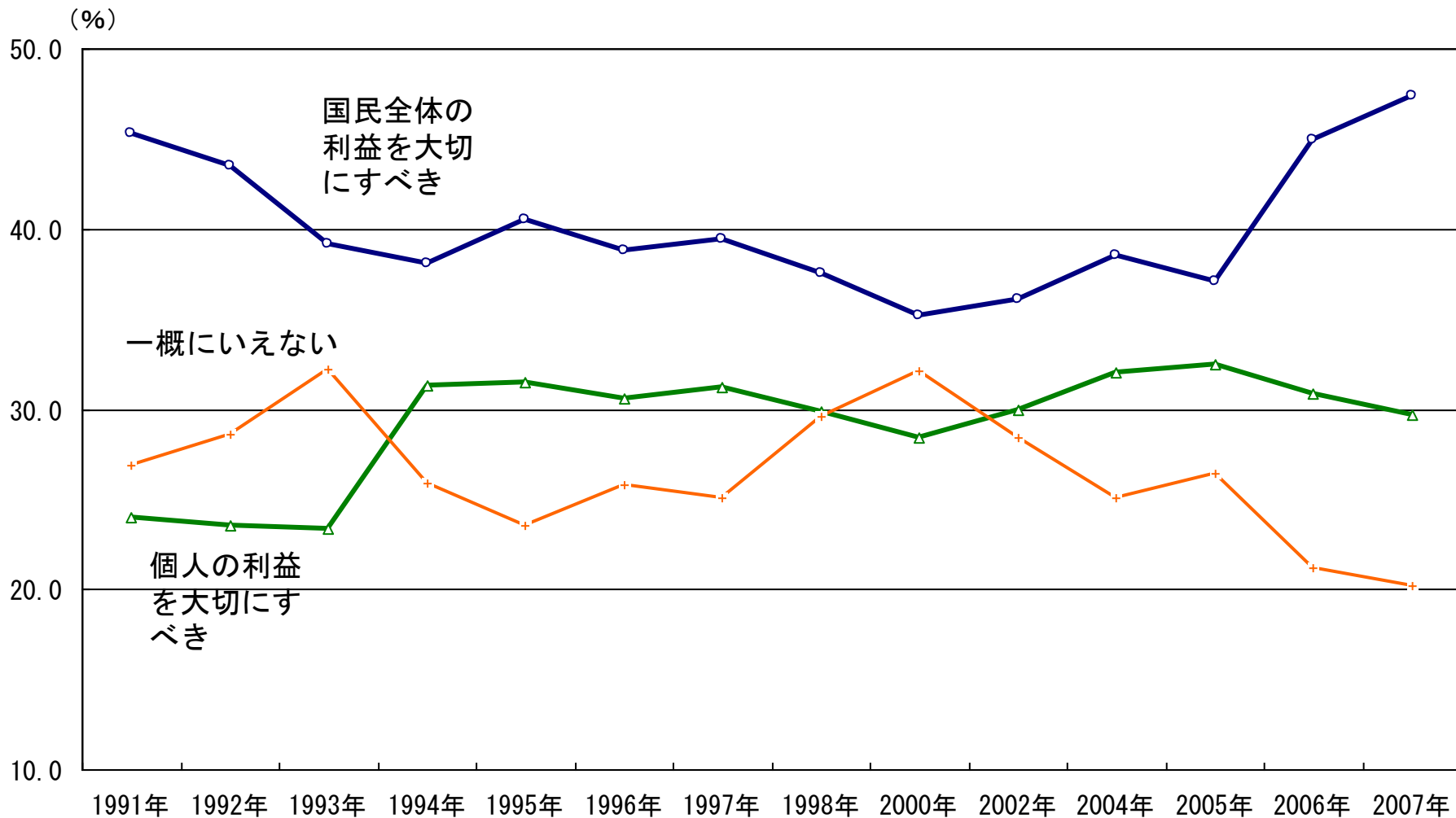
「国や社会のことにもっと目を向けるべきだ」と考えている人の割合が増えている。



出典：内閣府「社会意識に関する世論調査」

国民全体の利益と個人の利益に関する意識の変化

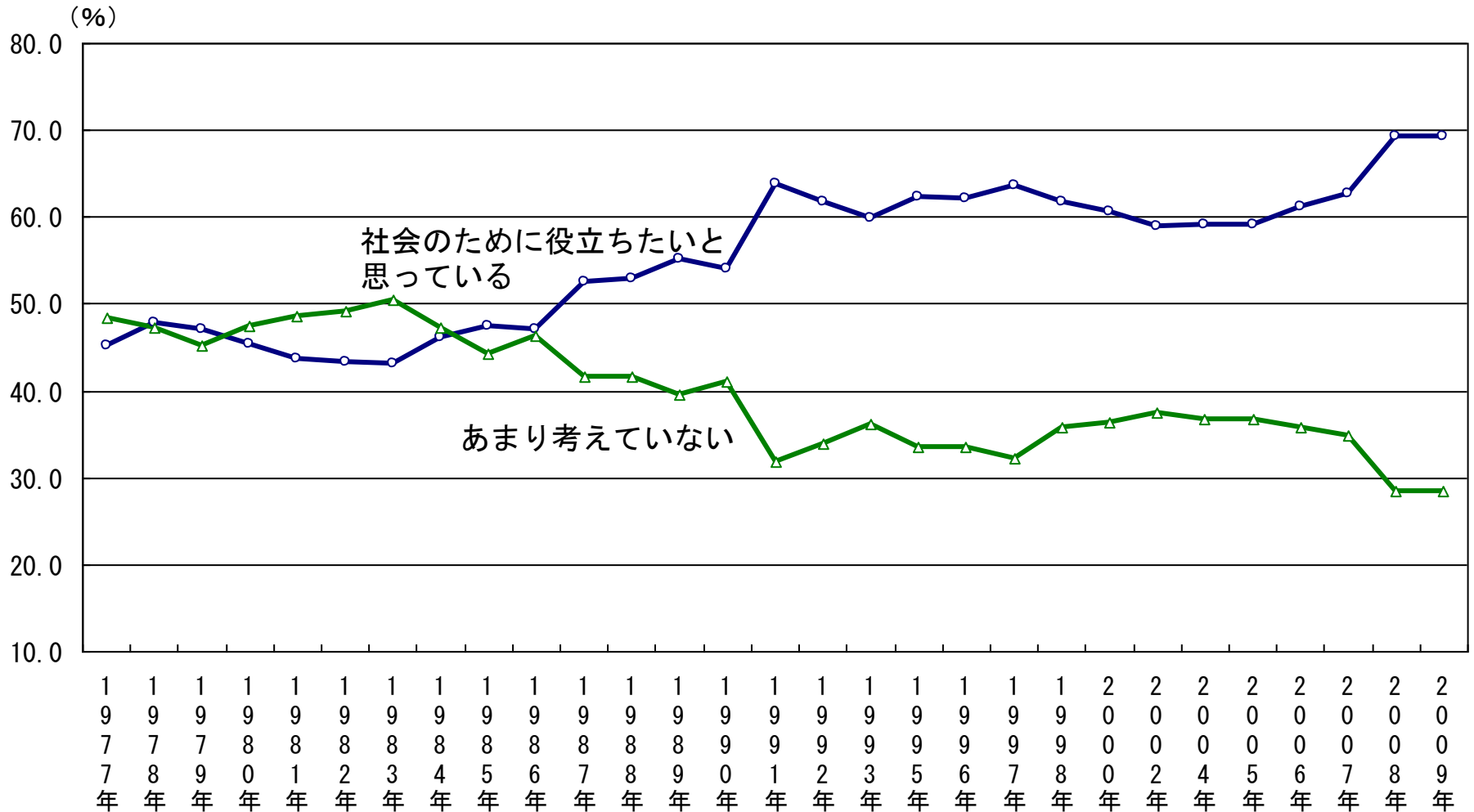
「個人の利益」よりも「国民全体の利益」を大切にすべきと考えている人の割合が高い。



出典：内閣府「社会意識に関する世論調査」

社会貢献意識の推移

「社会のために役に立ちたい」と思っている人の割合は増加傾向にある。

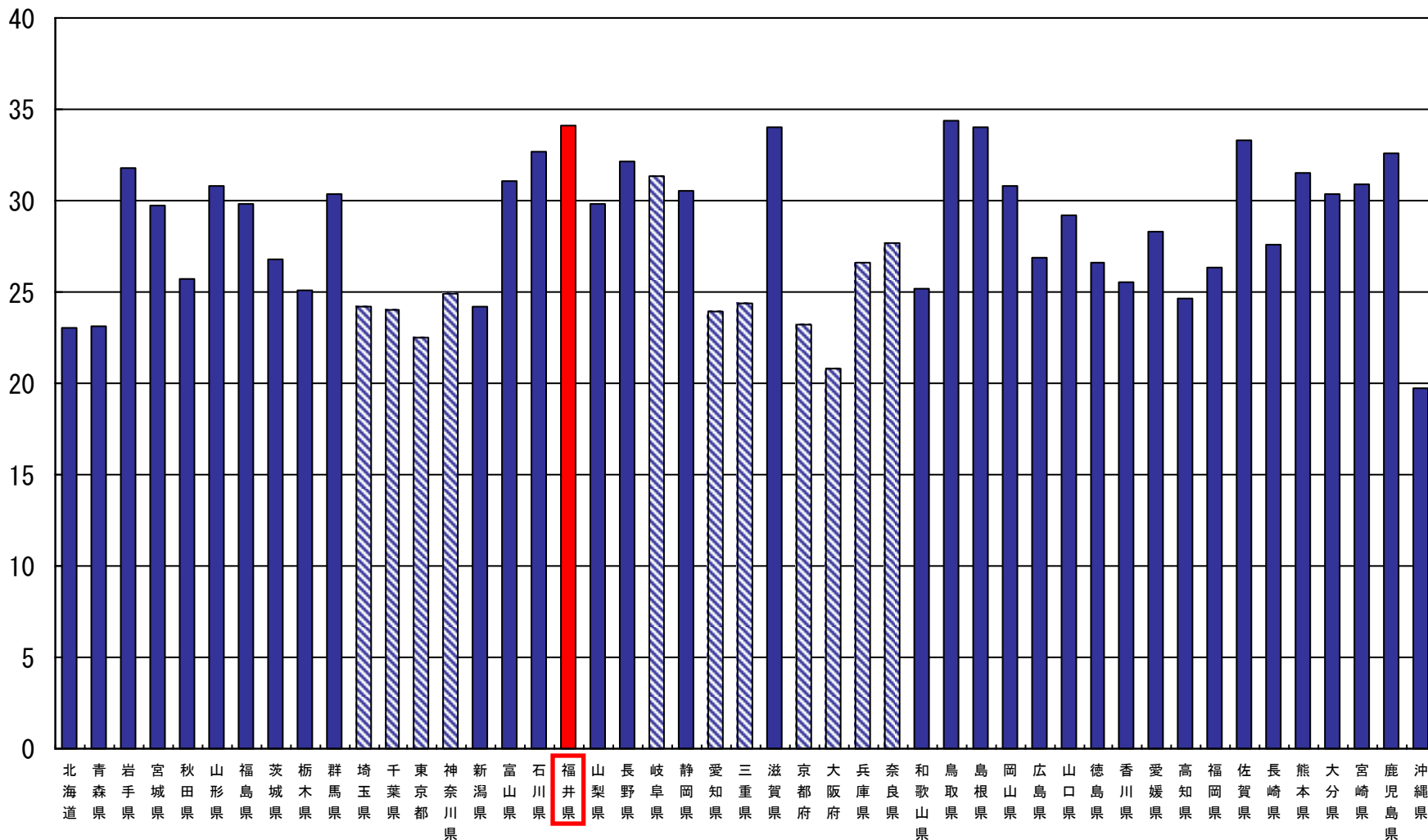


出典：内閣府「社会意識に関する世論調査」

「新しい人間像」

ボランティア活動の年間行動者率

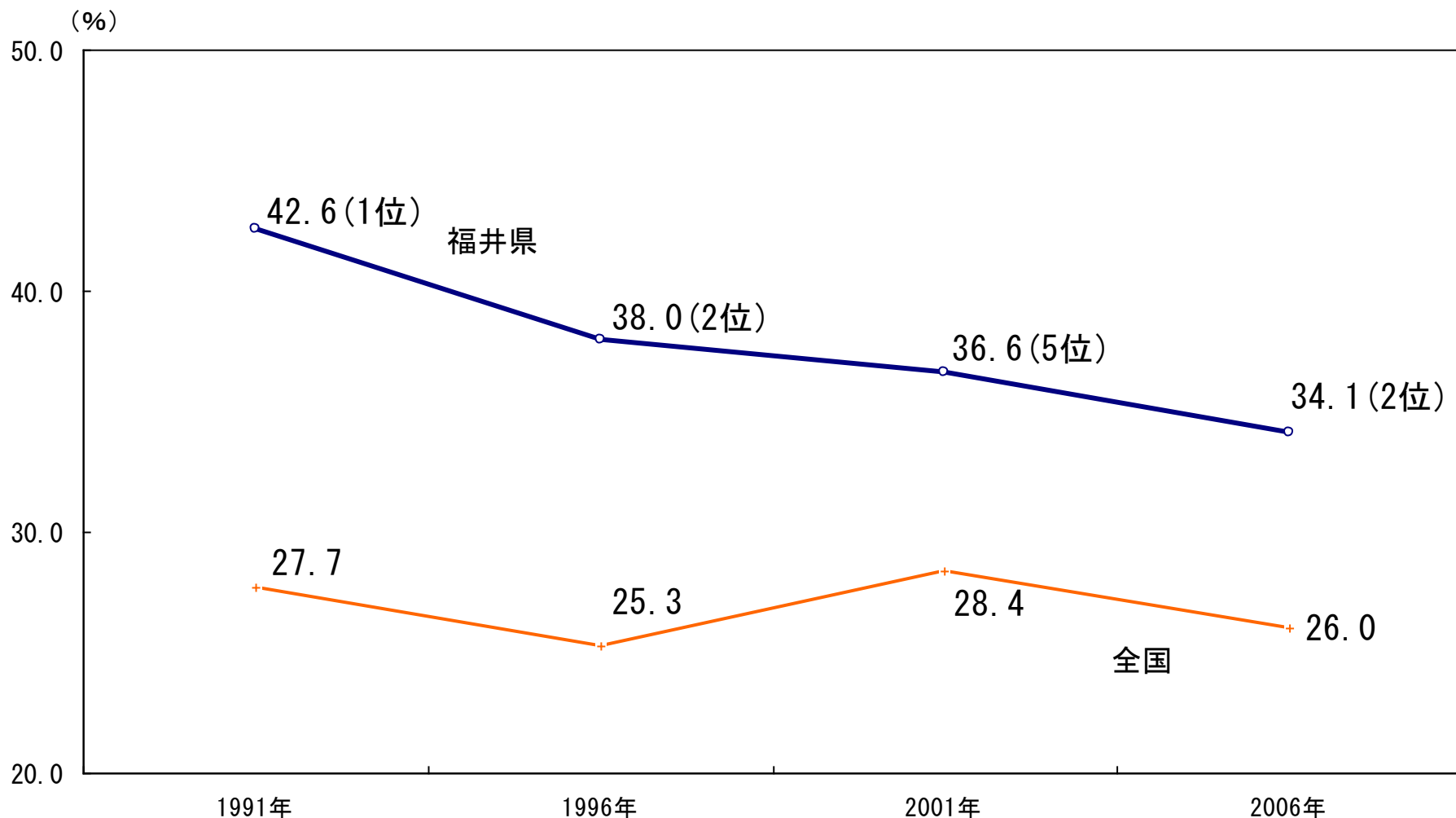
福井県のボランティア行動者率は34.1%で全国2位である。



出典：総務省「社会生活基本調査報告」（平成18年）

福井県のボランティア活動の年間行動者率（15歳以上）

福井県のボランティア行動者率は年々低下している。

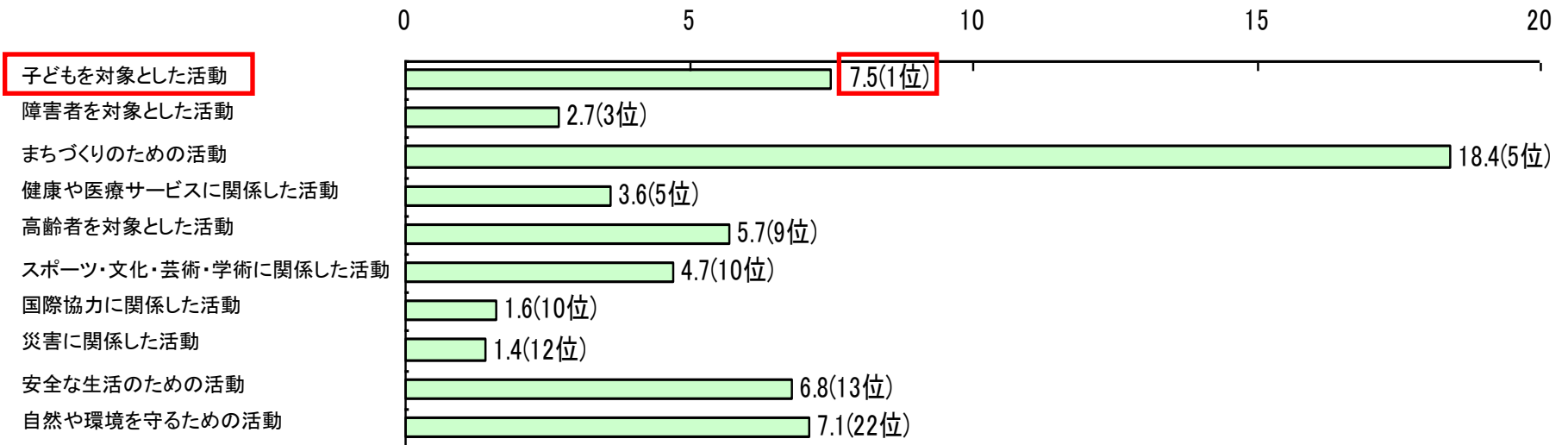


出典：総務省統計局「社会生活基本調査報告」

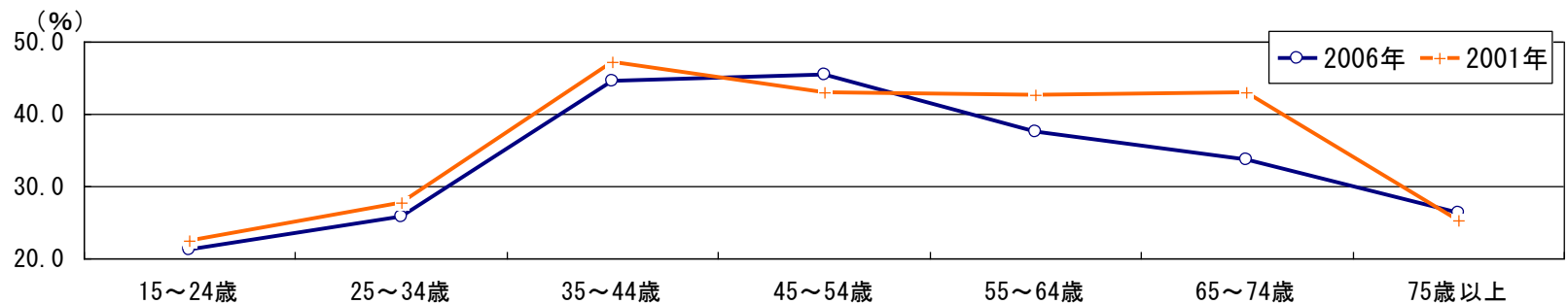
福井県のボランティア活動の種類別、年齢階層別行動者率

ボランティア活動の種類別では「子どもを対象とした活動」が全国1位となっている。また年齢階層別にみると、35～54歳に行動者率が高い。2001年と比較すると、全体的に低下しており、特に55～74歳までの年齢層で低下している。

■「ボランティア活動」の種類別行動者率

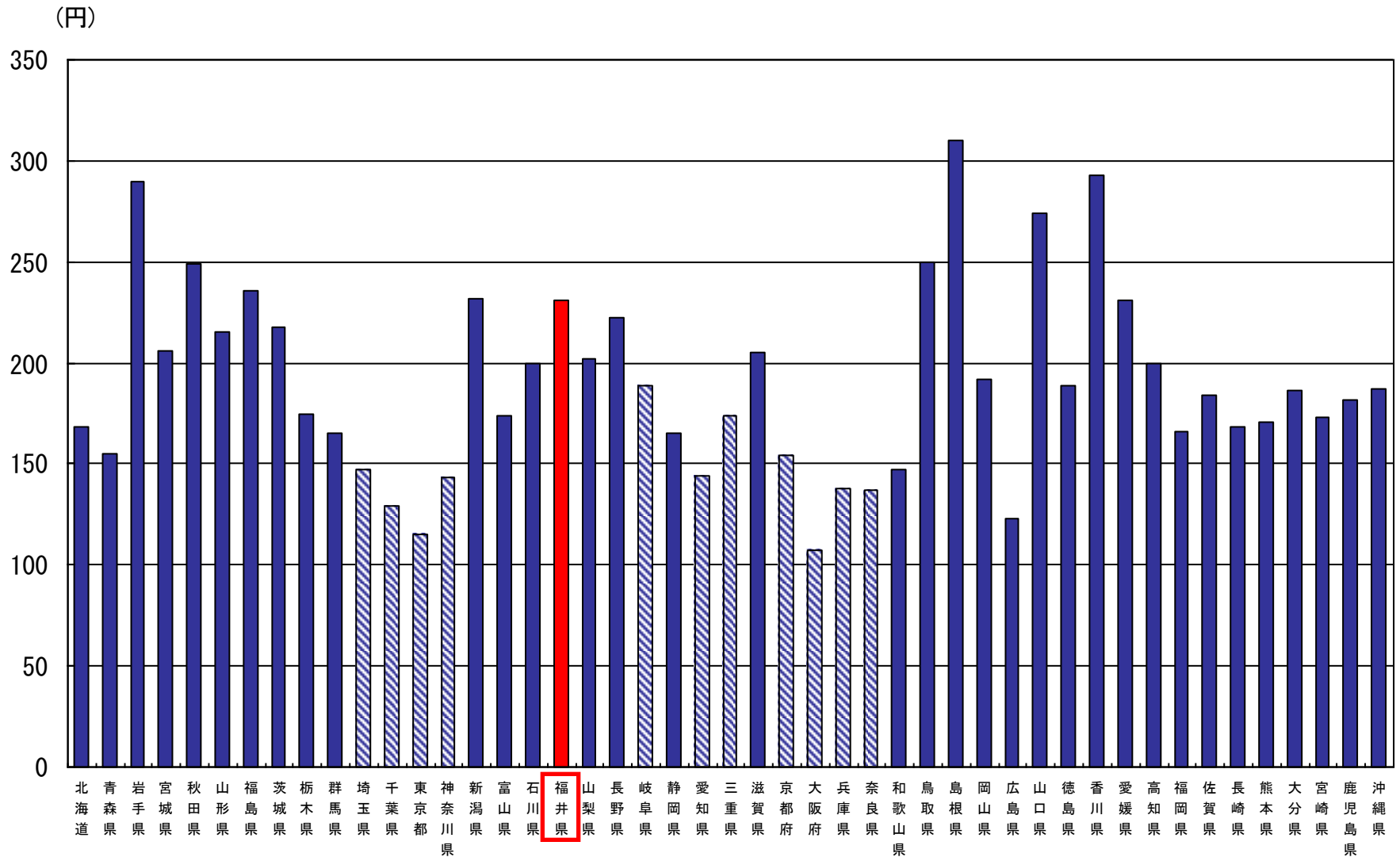


■年齢階層別「ボランティア活動」の行動者率



出典：総務省統計局「社会生活基本調査報告」

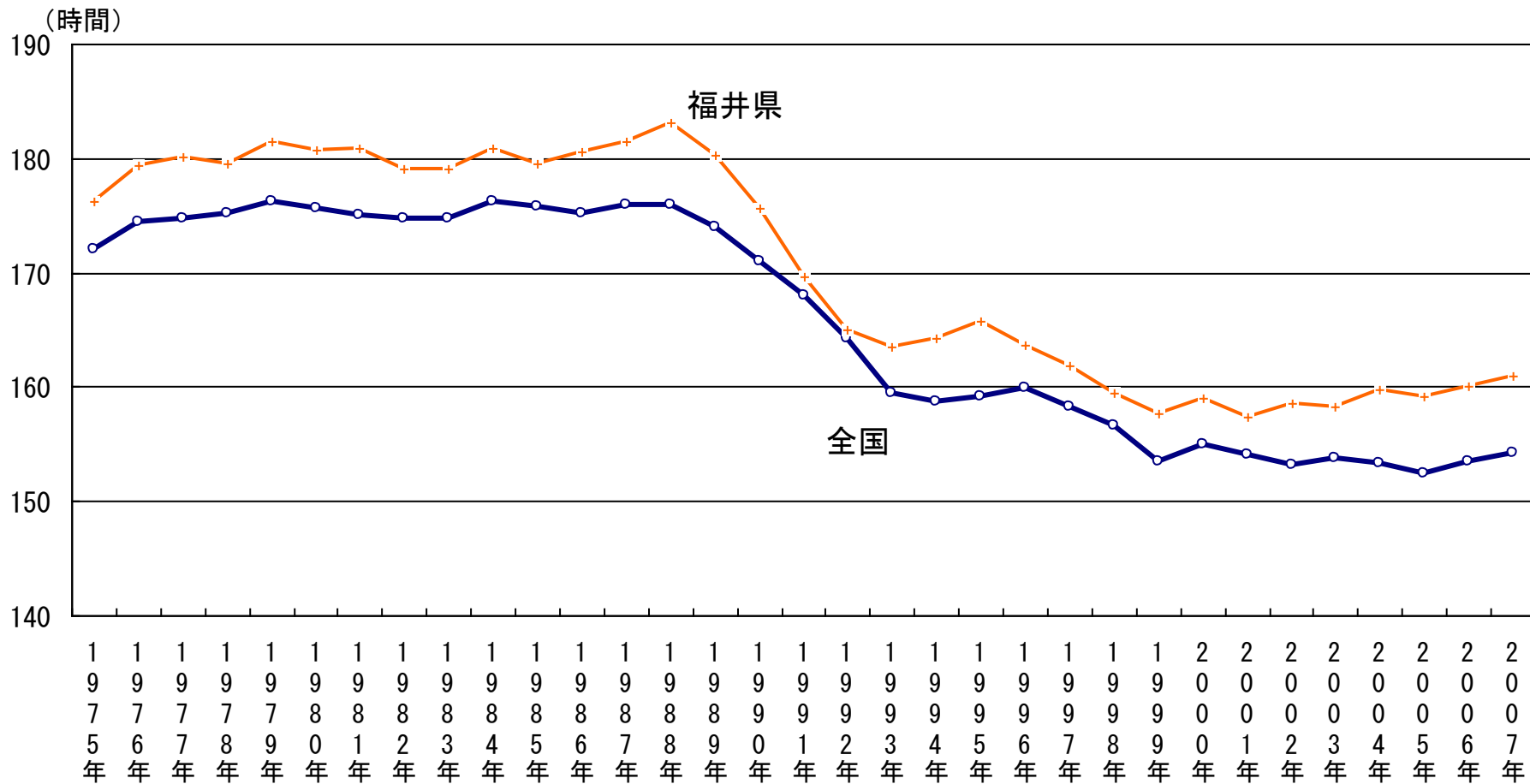
共同募金の1人あたりの寄附額



出典：中央共同募金会資料（平成20年度）

福井県の月間実労働時間の推移

福井県の月間労働時間は全国と比べて長く、1990年代に週休2日制の定着などにより一旦は大きく減少したが、近年は再び緩やかな増加傾向が続いている。

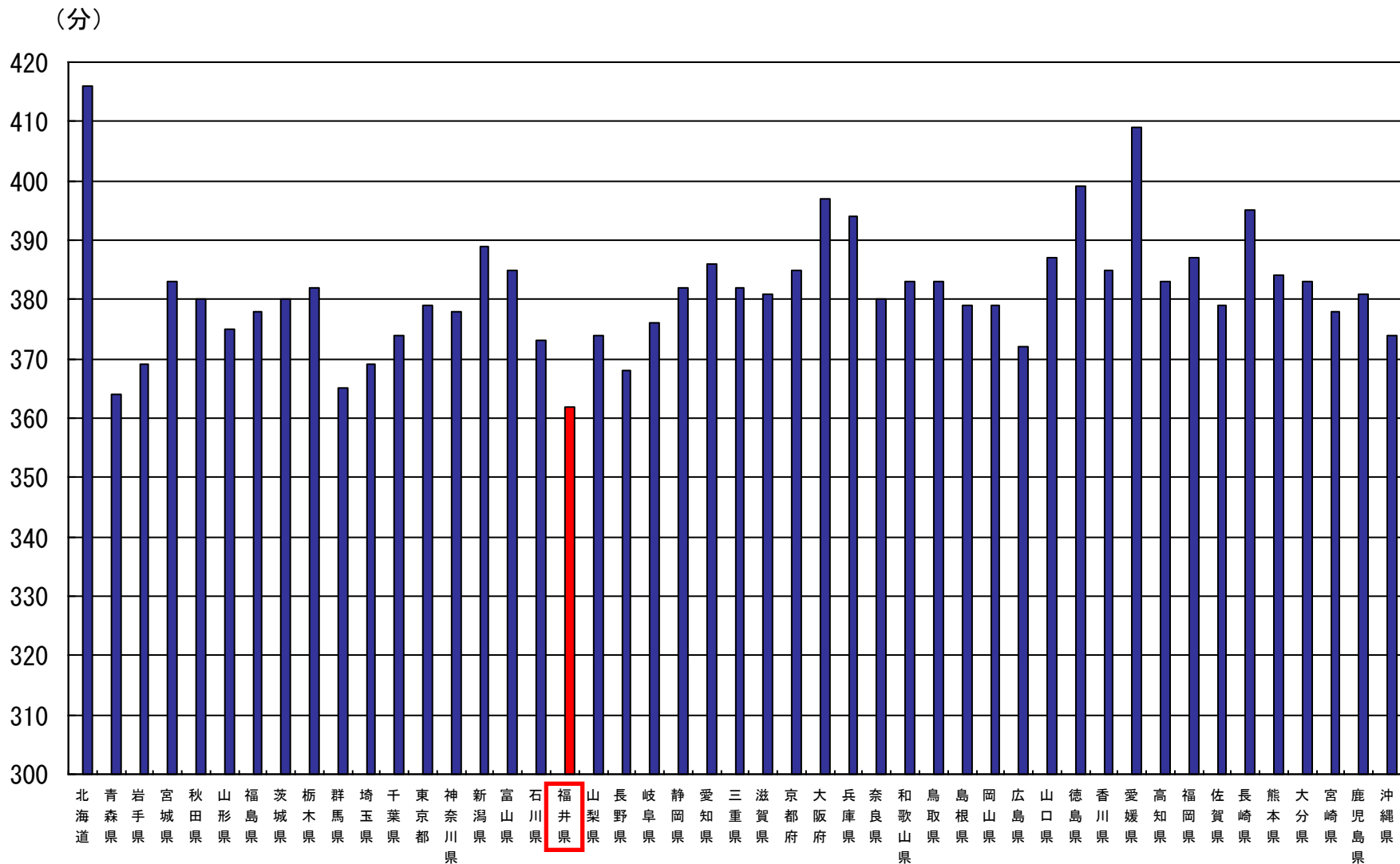


※常用労働者を常時30人以上雇用する事業所を対象に調査した月間労働時間の平均値

出典：厚生労働省「毎月勤労統計調査」

都道府県別余暇活動時間

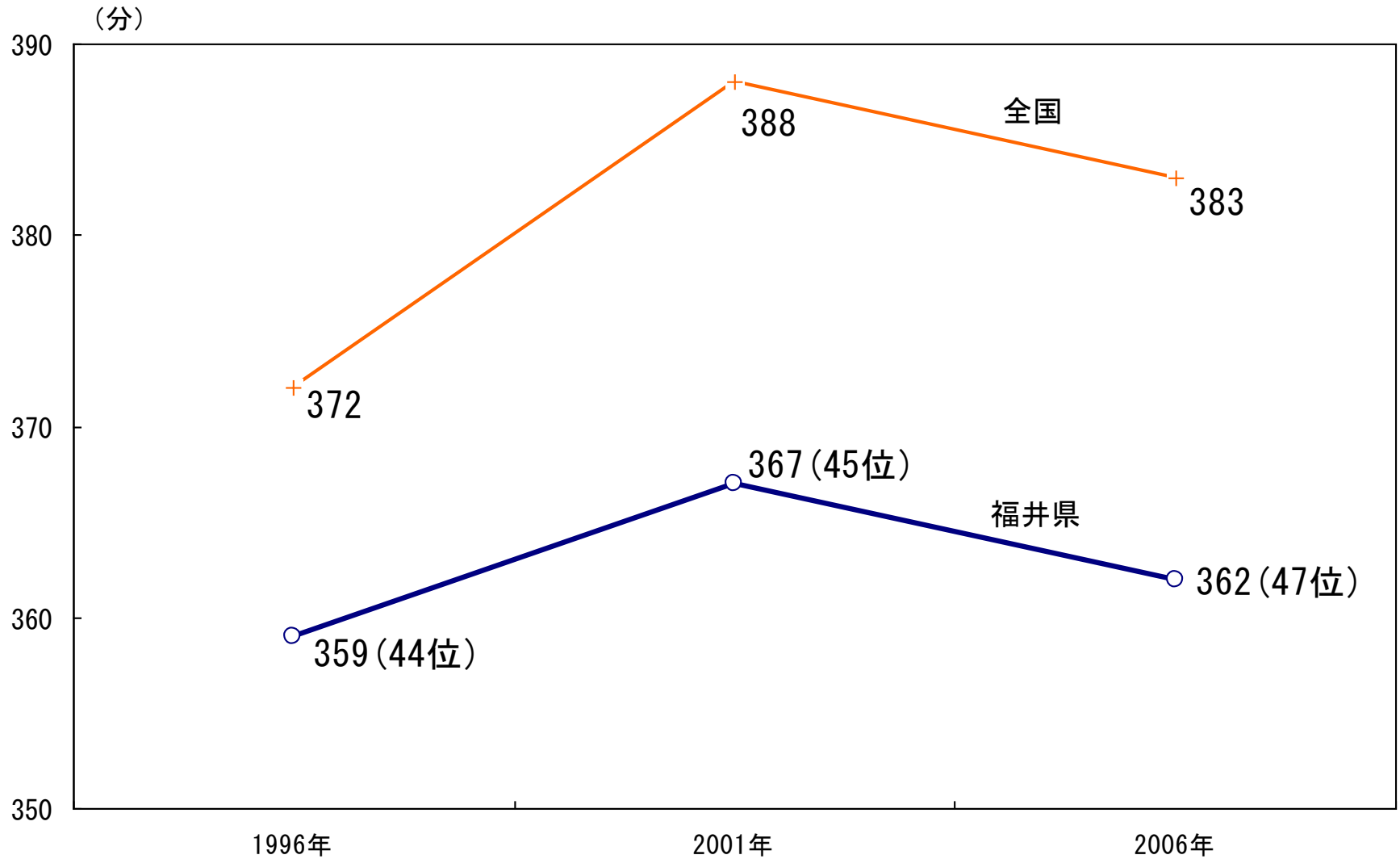
福井県の1週間の平均余暇活動時間は6時間3分（1人当たり）で全国最下位である。



出典：総務省「社会生活基本調査報告」（平成18年）

福井県の余暇活動時間の推移

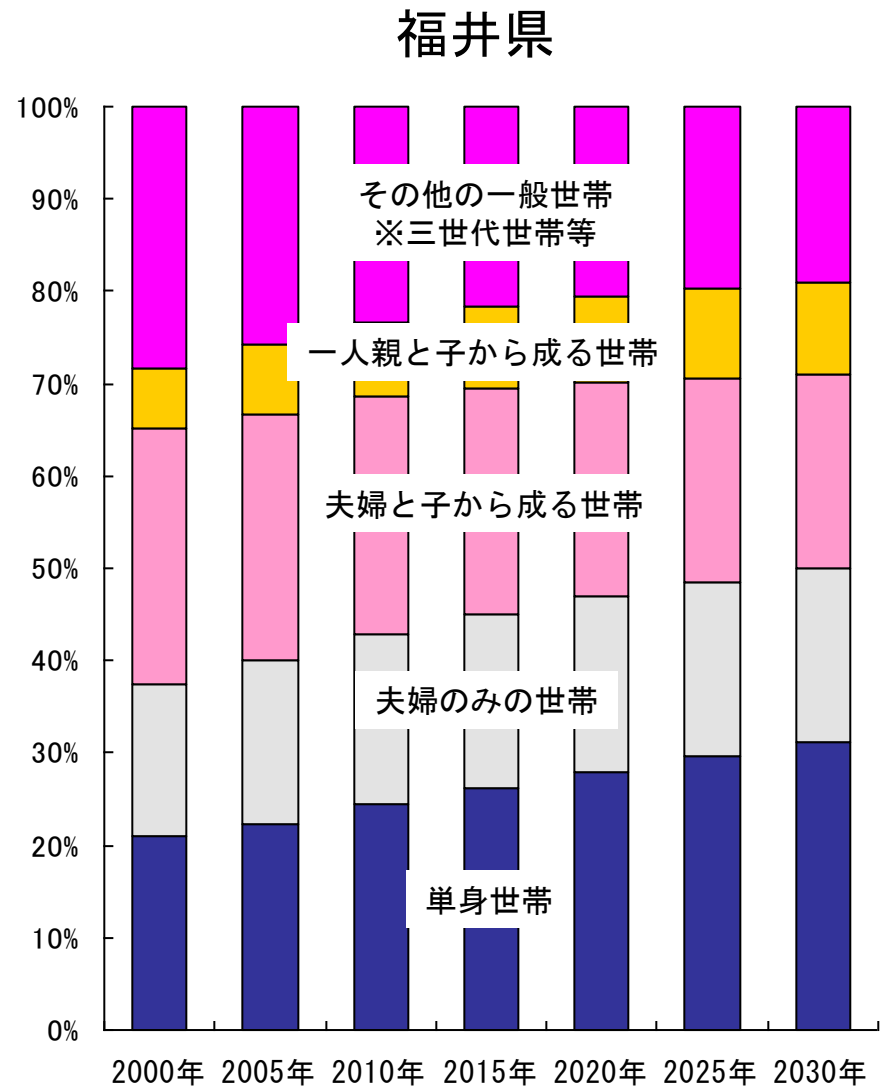
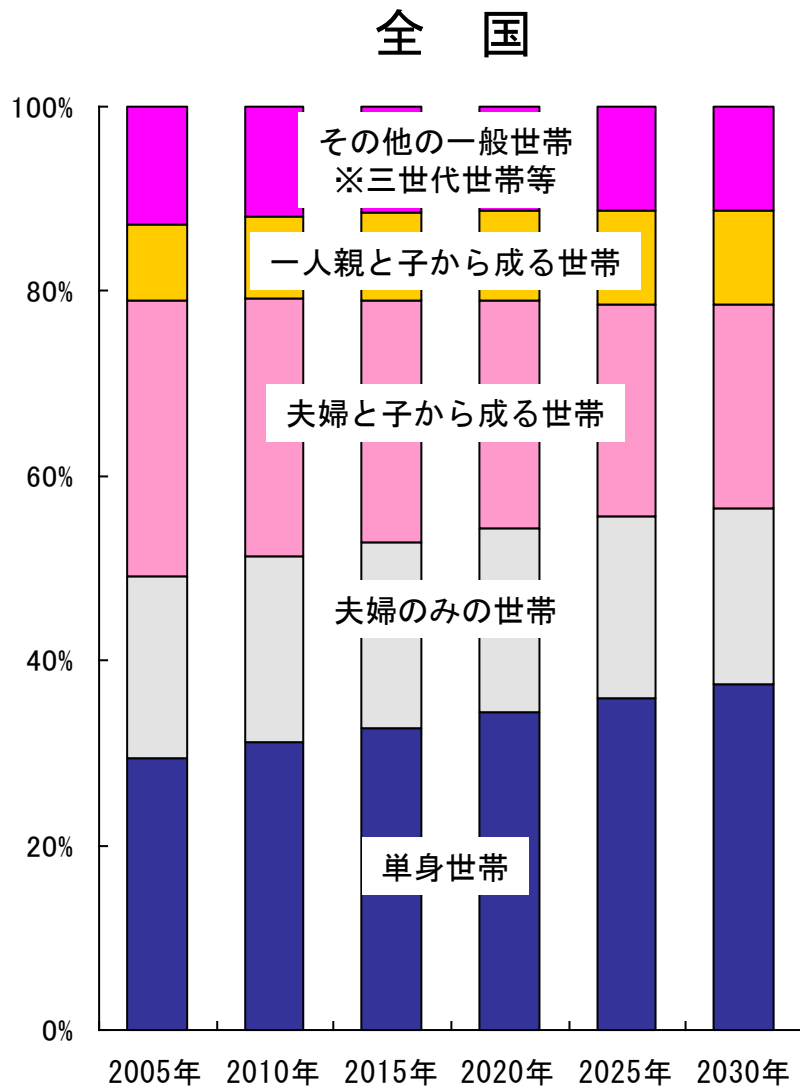
福井県の余暇活動時間は、2001年と比べて5分減少。全国下位で推移している。



出典：総務省統計局「社会生活基本調査報告」

家族のかたち

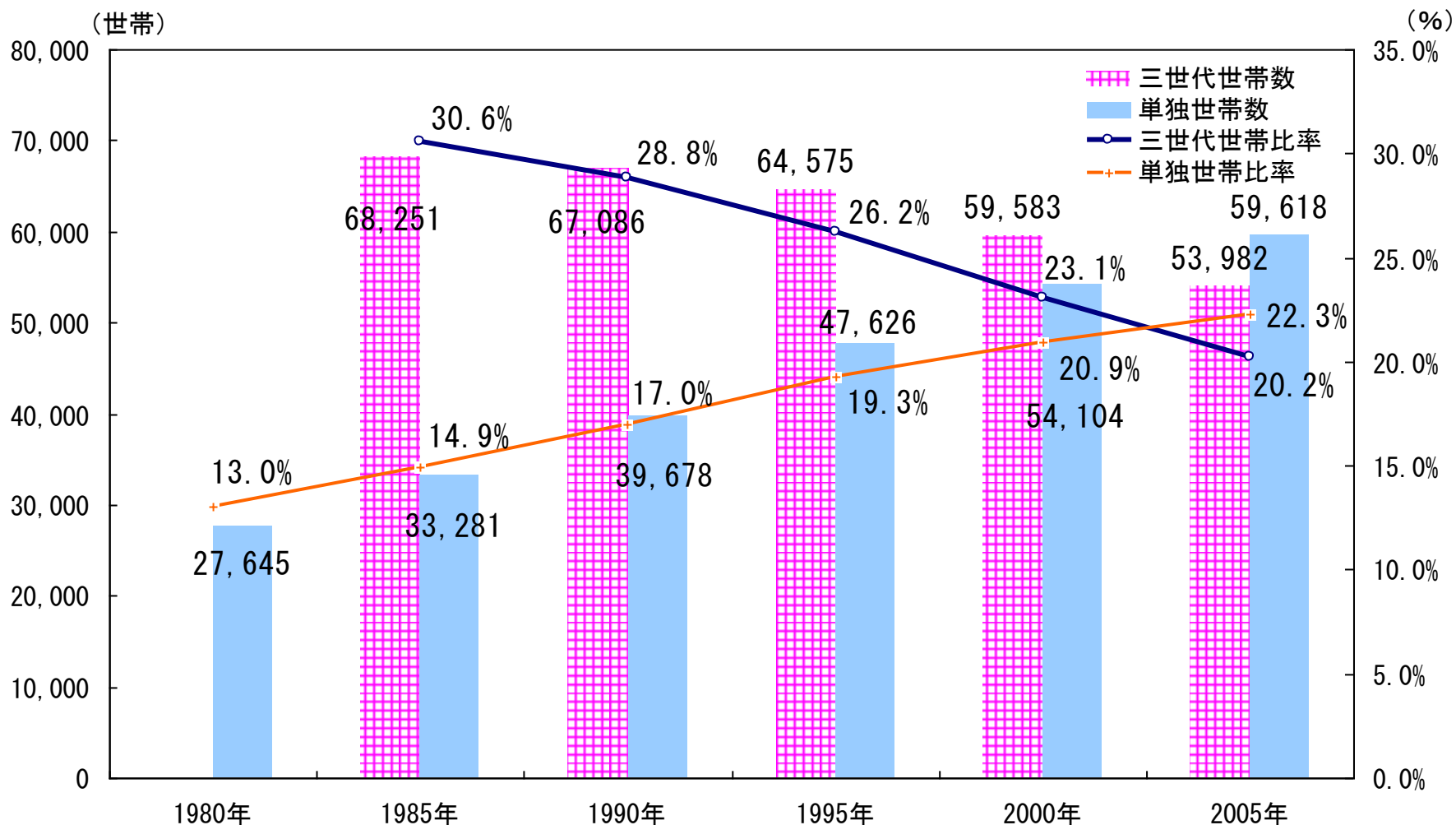
福井県の一般世帯の家族類型別世帯割合



出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計」

福井県の三世代世帯数と単独世帯数の推移

福井県の三世代世帯比率は、全国的に見れば高いものの年々減少。単独世帯が急速に増加。

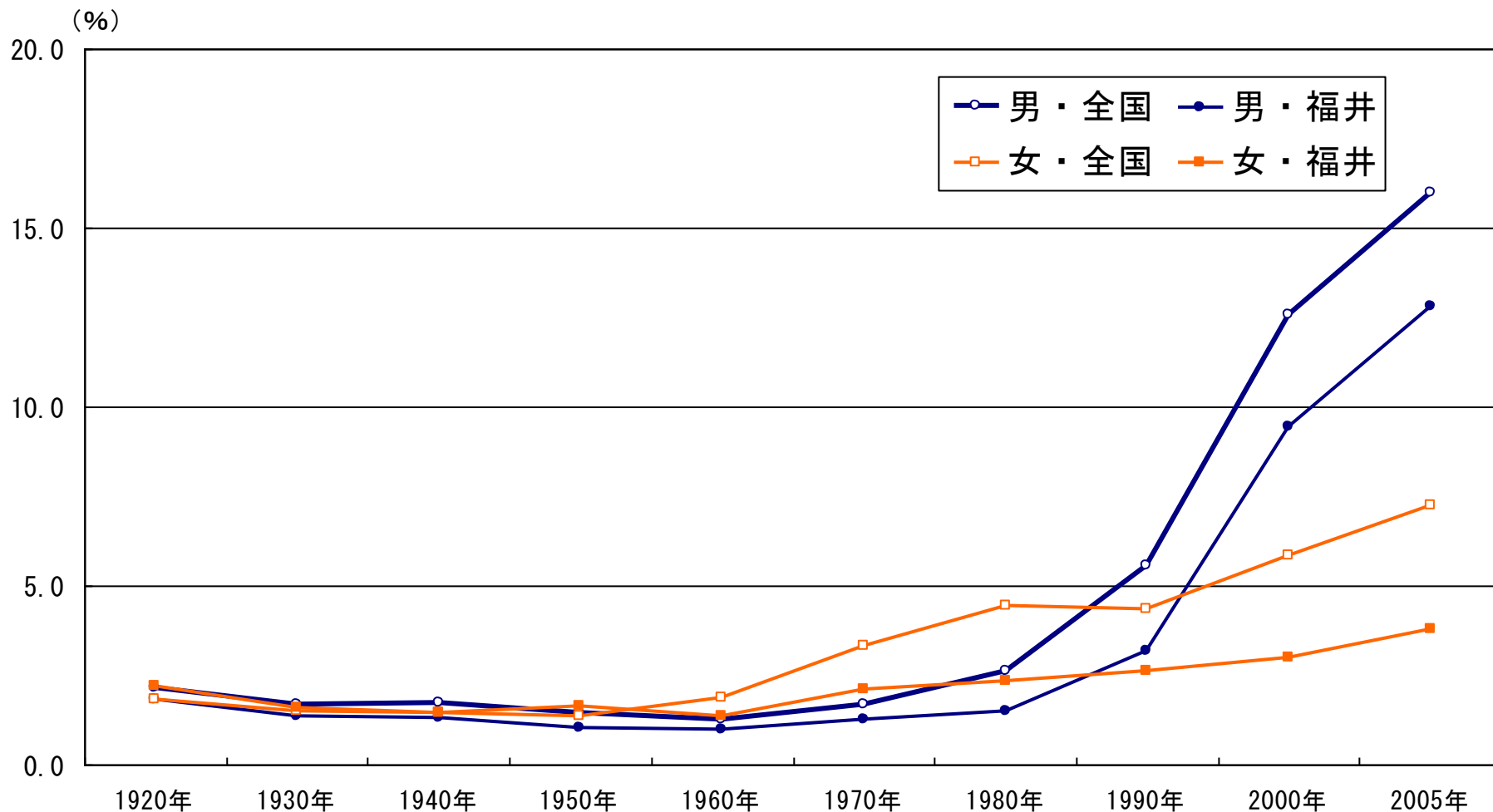


出典：総務省「国勢調査」

福井県の生涯未婚率の推移

福井県の生涯未婚率は、全国に比べて低いですが、年々高くなっている。

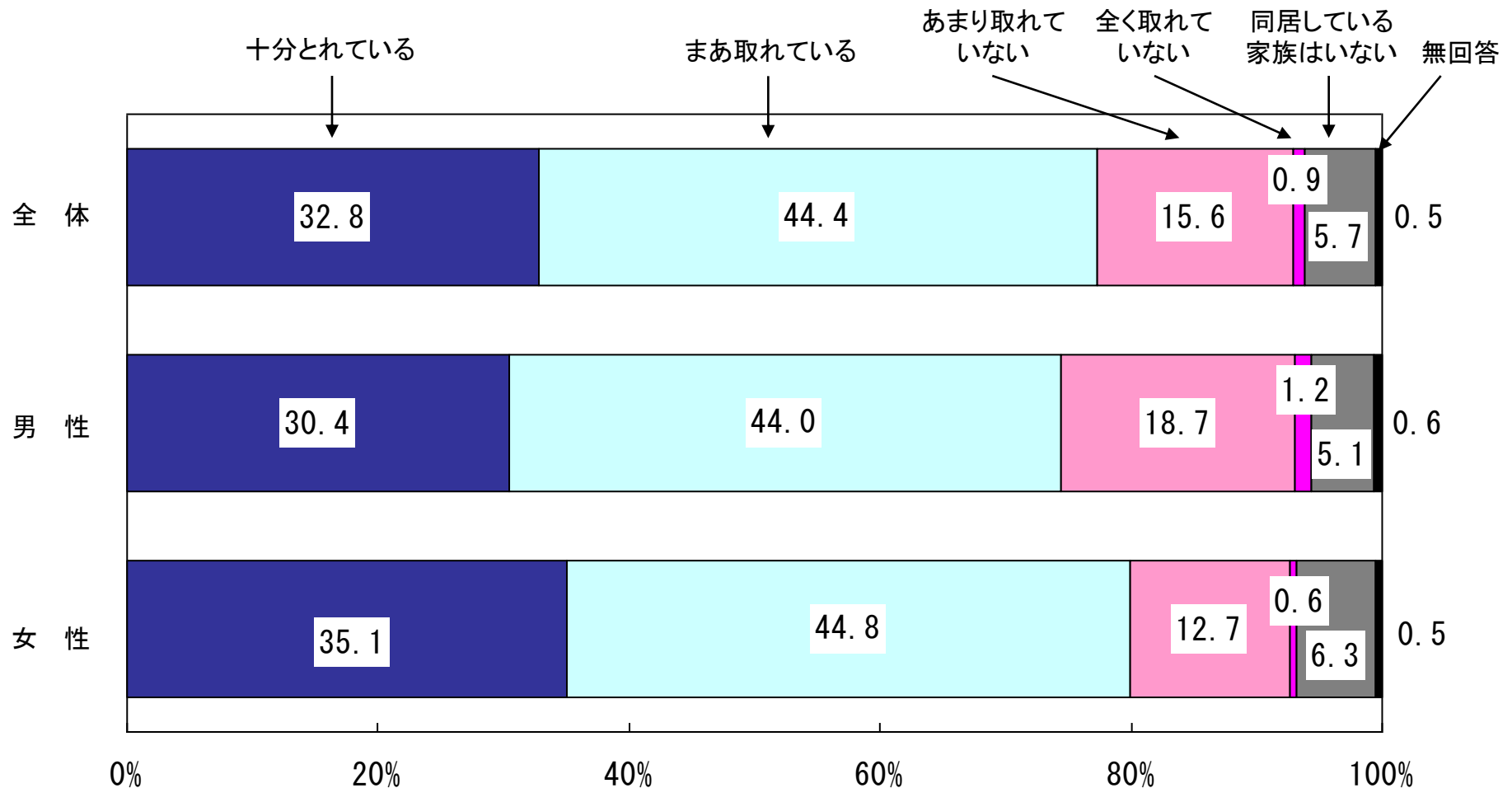
※生涯未婚率：50歳時点で一度も結婚したことのない人の割合。



出典：国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集2009」

家族との時間に関する意識

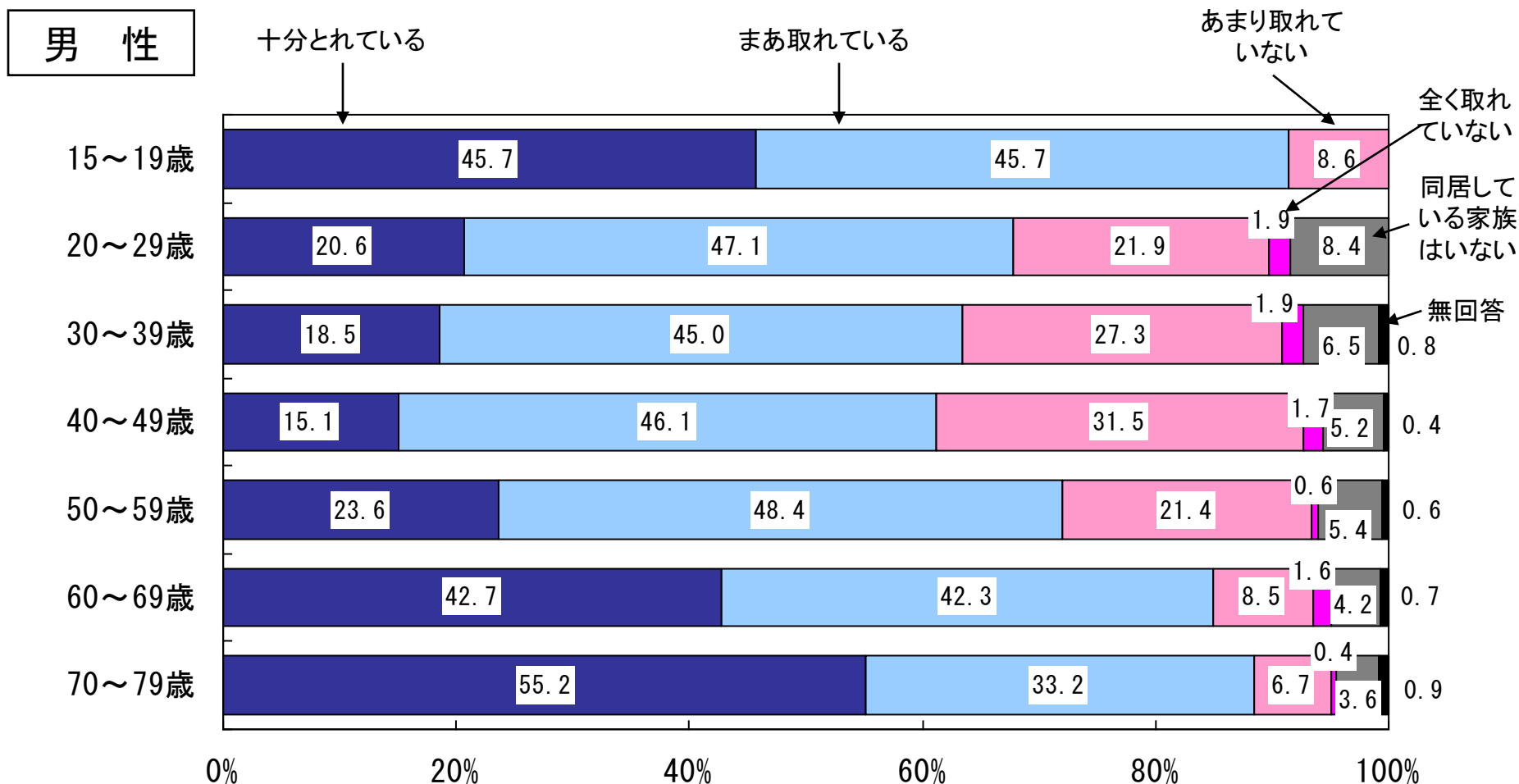
8割弱の人が「家族との時間が取れている」と感じているが、男性で「家族との時間が取れていない」と感じている人の割合が高い。



出典：内閣府「国民生活選好度調査（平成18年度）」

家族との時間に関する意識（男性）

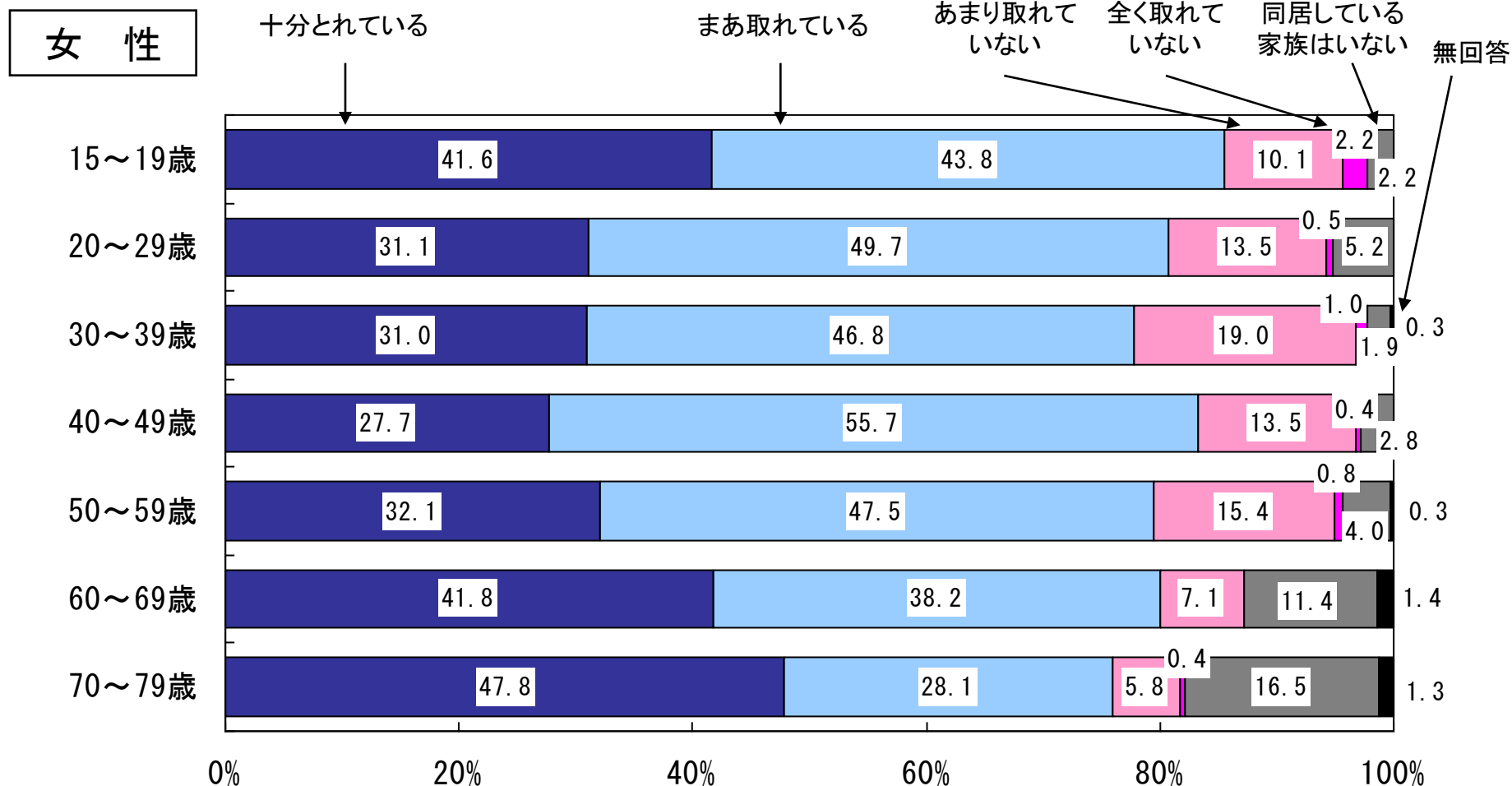
20～40代で「家族との時間が取れていない」と感じている人の割合が高い。



出典：内閣府「国民生活選好度調査（平成18年度）」

家族との時間に関する意識（女性）

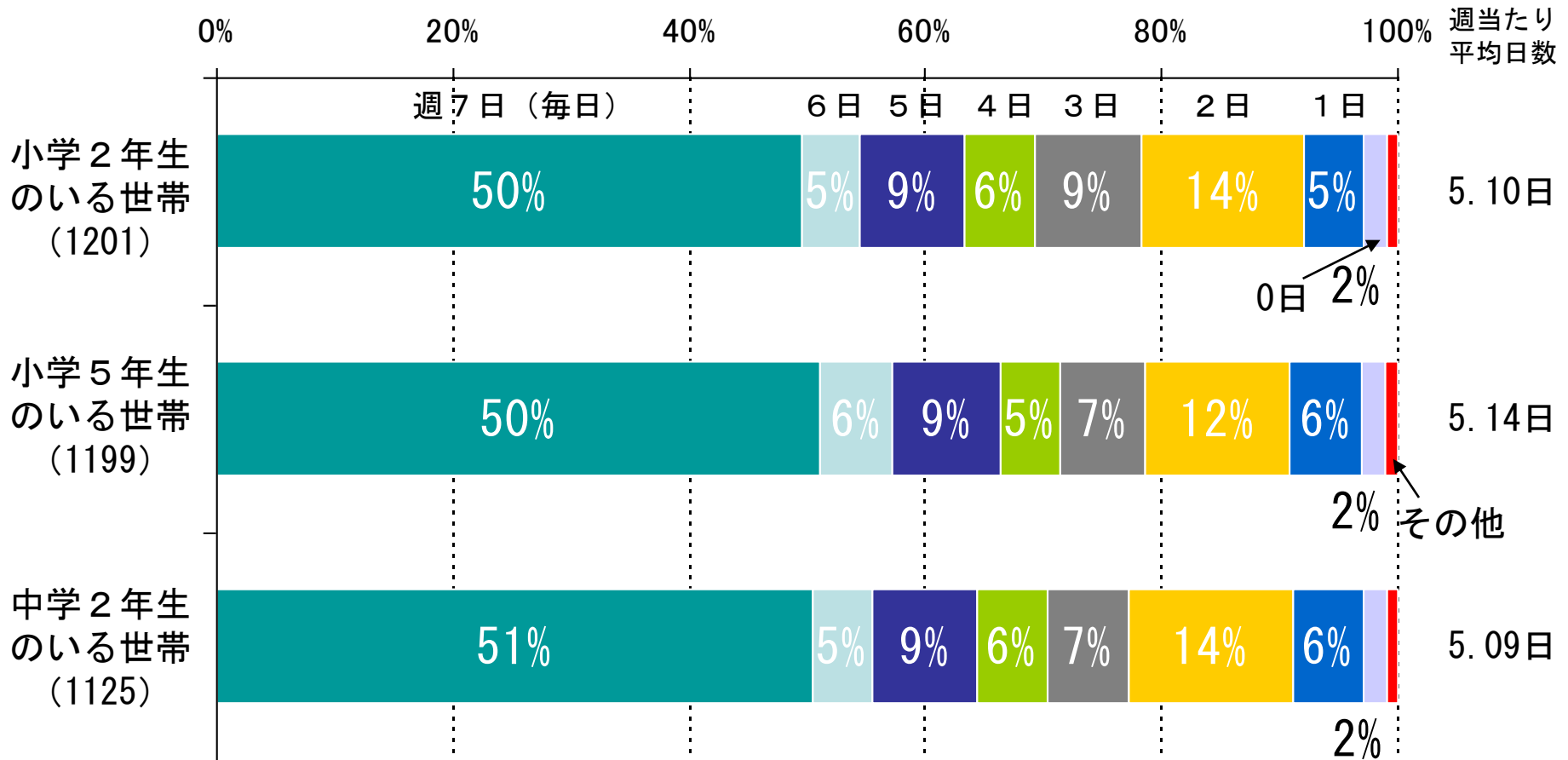
男性に比べ全体的に「家族との時間が取れている」と感じている人の割合が高い。



出典：内閣府「国民生活選好度調査（平成18年度）」

福井県の家族時間①

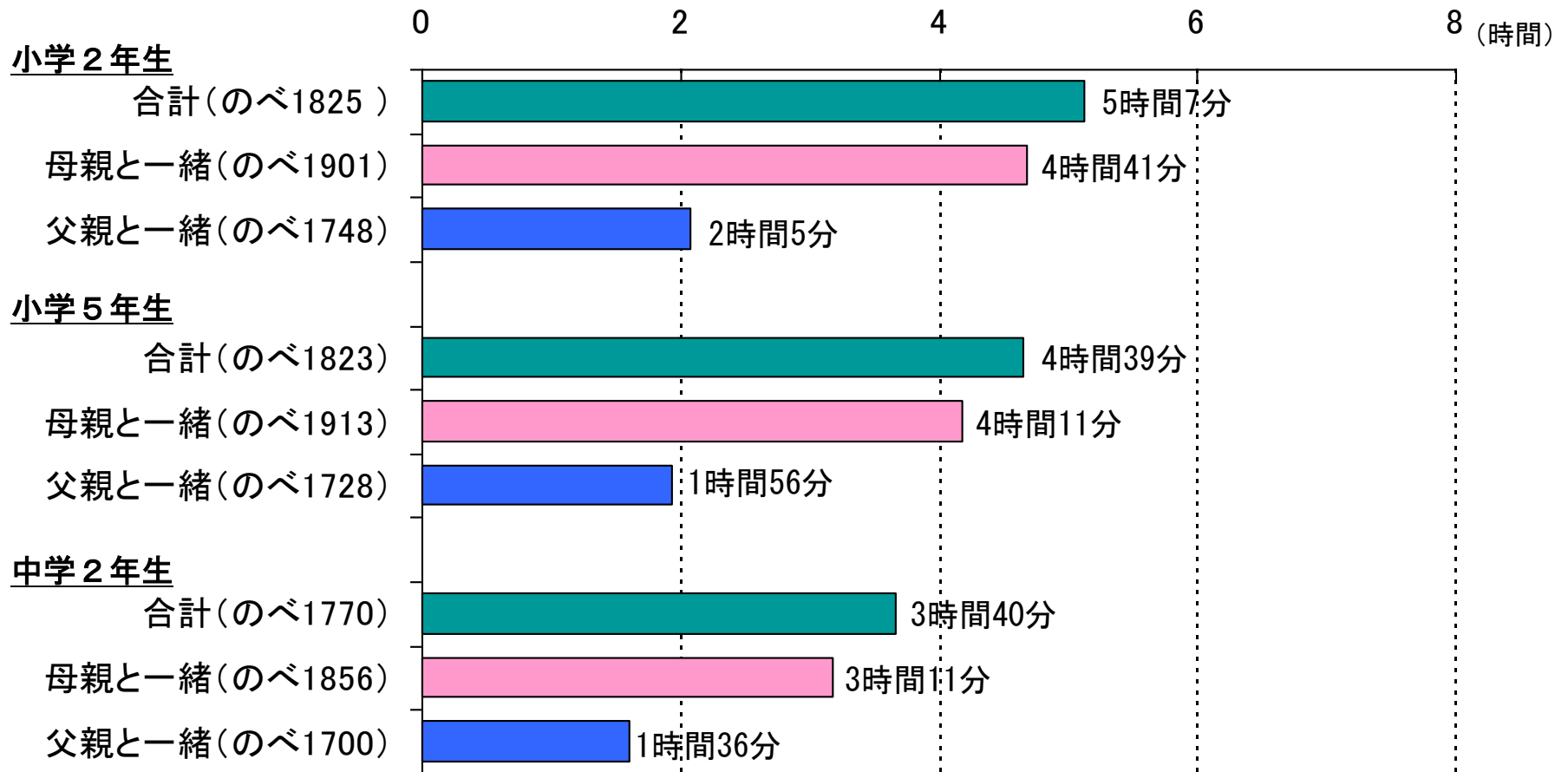
50%の世帯で毎日子どもと保護者がそろって夕食をとっている。



出典：福井県「家族時間に関するアンケート調査」（2009年3月）

福井県の家族時間②

平日の母親の家族時間は4時間1分、父親は1時間52分。子どもが大きくなるほど、家族時間が減少する。



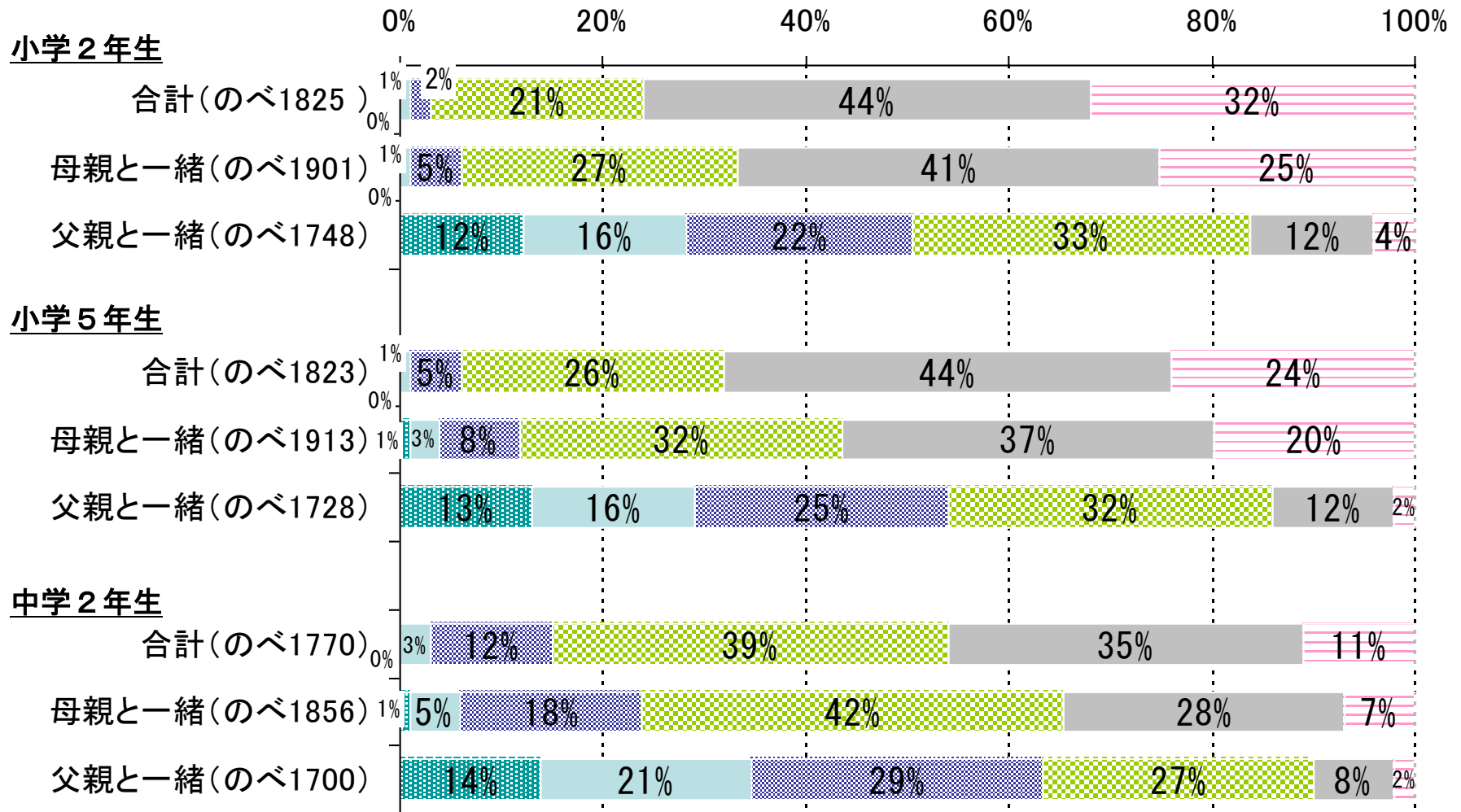
※平成20年11月17日(月)、11月18日(火)の単純平均

出典：福井県「家族時間に関するアンケート調査」(2009年3月)

福井県の家族時間③

時間区分別家族時間の状況

■ 0分 ■ 1分～1時間未満 ■ 1時間以上～2時間未満 ■ 2～4時間 ■ 4～6時間 ■ 6時間～



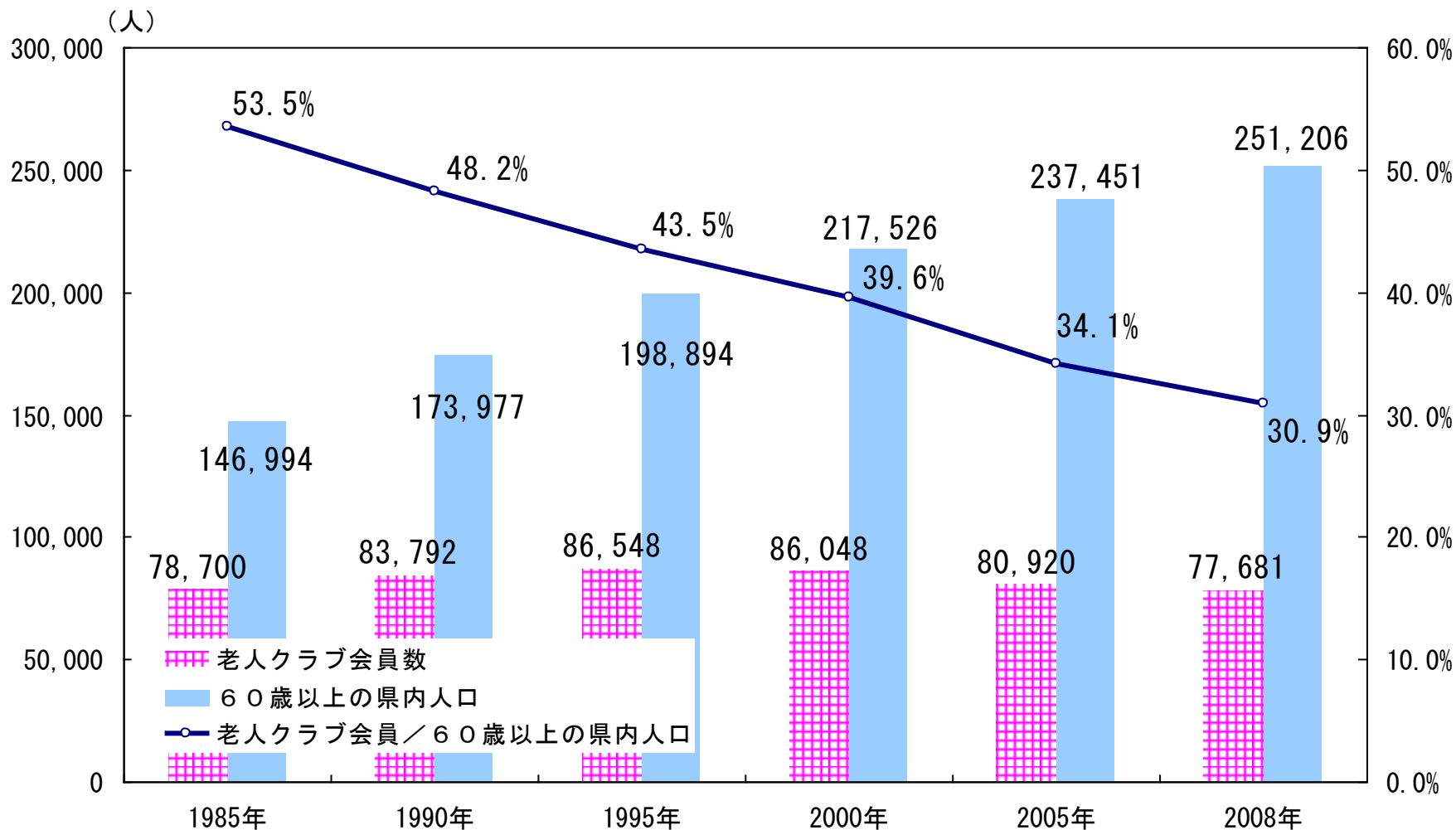
※平成20年11月17日(月)、11月18日(火)の単純平均

出典：福井県「家族時間に関するアンケート調査」(2009年3月)

地域コミュニティの再生

福井県の老人クラブ会員数等の推移

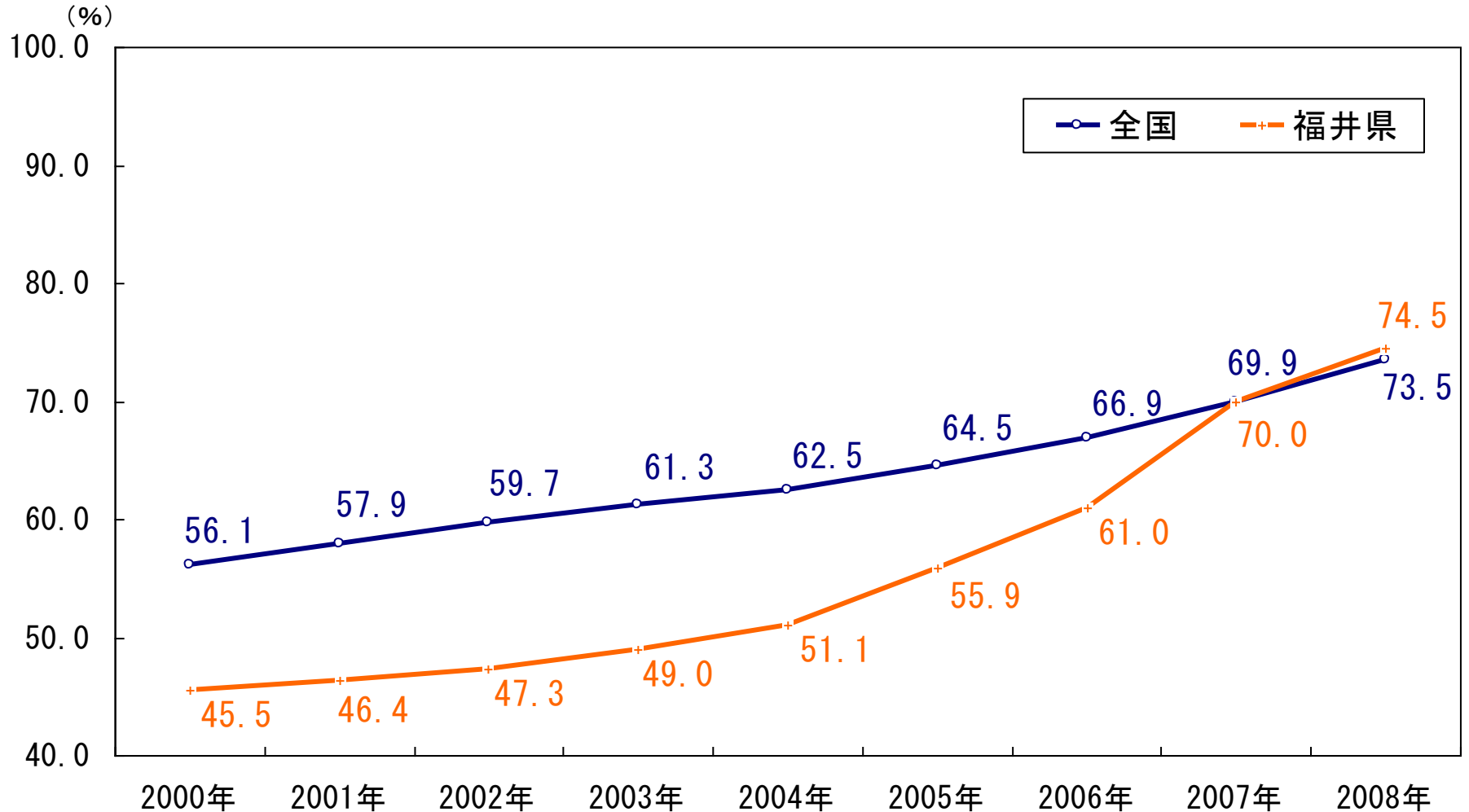
福井県の老人クラブの会員数はほぼ横ばいで推移しているが、60歳以上人口に占める割合は、減少傾向にある。



出典：厚生労働省「福祉行政報告例」

福井県の自主防災組織の組織率の推移

福井県の自主防災組織の組織率は年々増加し、2007年に全国平均を超えた。



出典：内閣府「防災白書」

福井市の自治会の状況

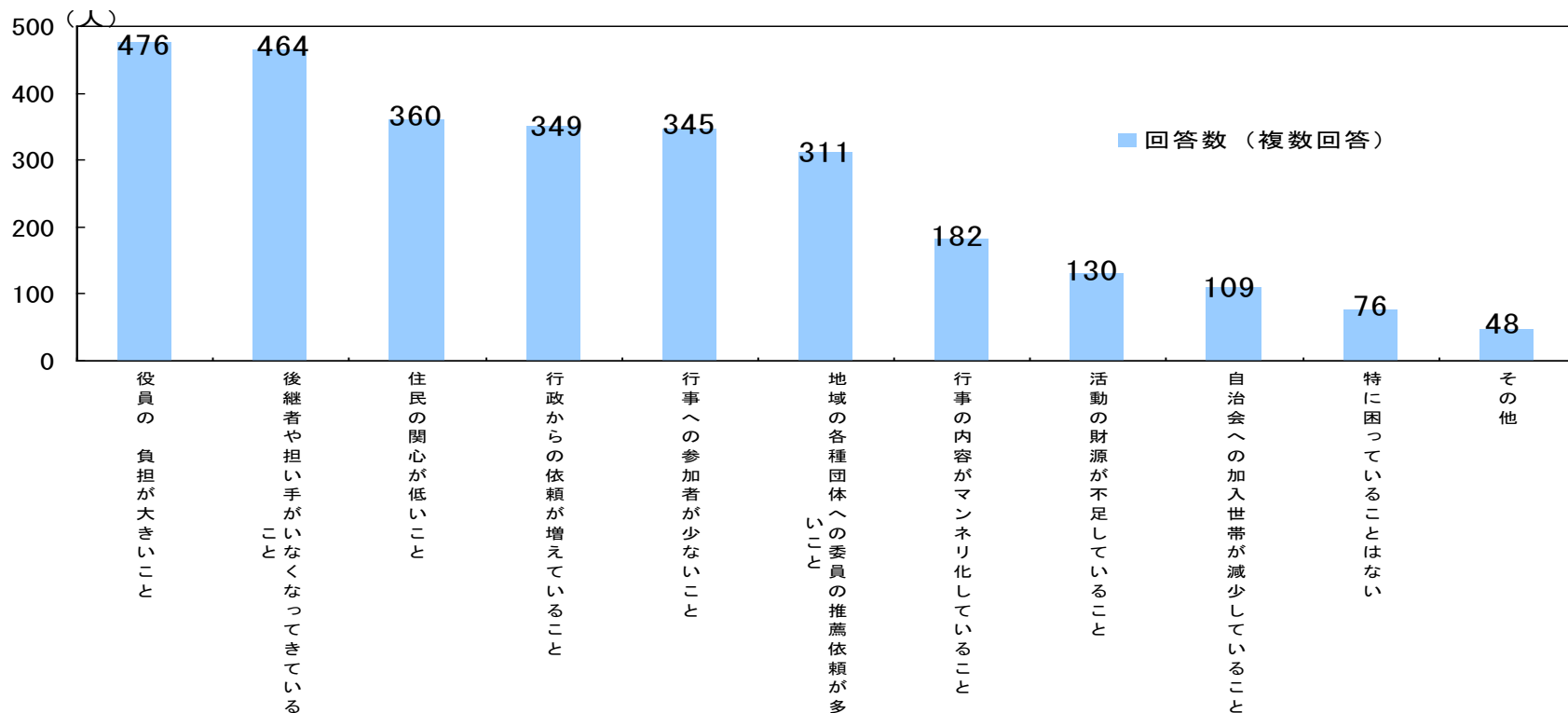
福井市の自治会加入率は加入世帯数は微増しているものの、加入率は減少傾向にある。

■福井市自治会加入率推移

| 年度 | 2001 | 2002 | 2003 | 2004 |
|-----------|--------|--------|--------|--------|
| 加入率(%) | 84.6 | 83.9 | 83.3 | 83.0 |
| 加入世帯数(世帯) | 71,182 | 71,134 | 71,236 | 71,511 |

■自治体活動で行う上で困っていること

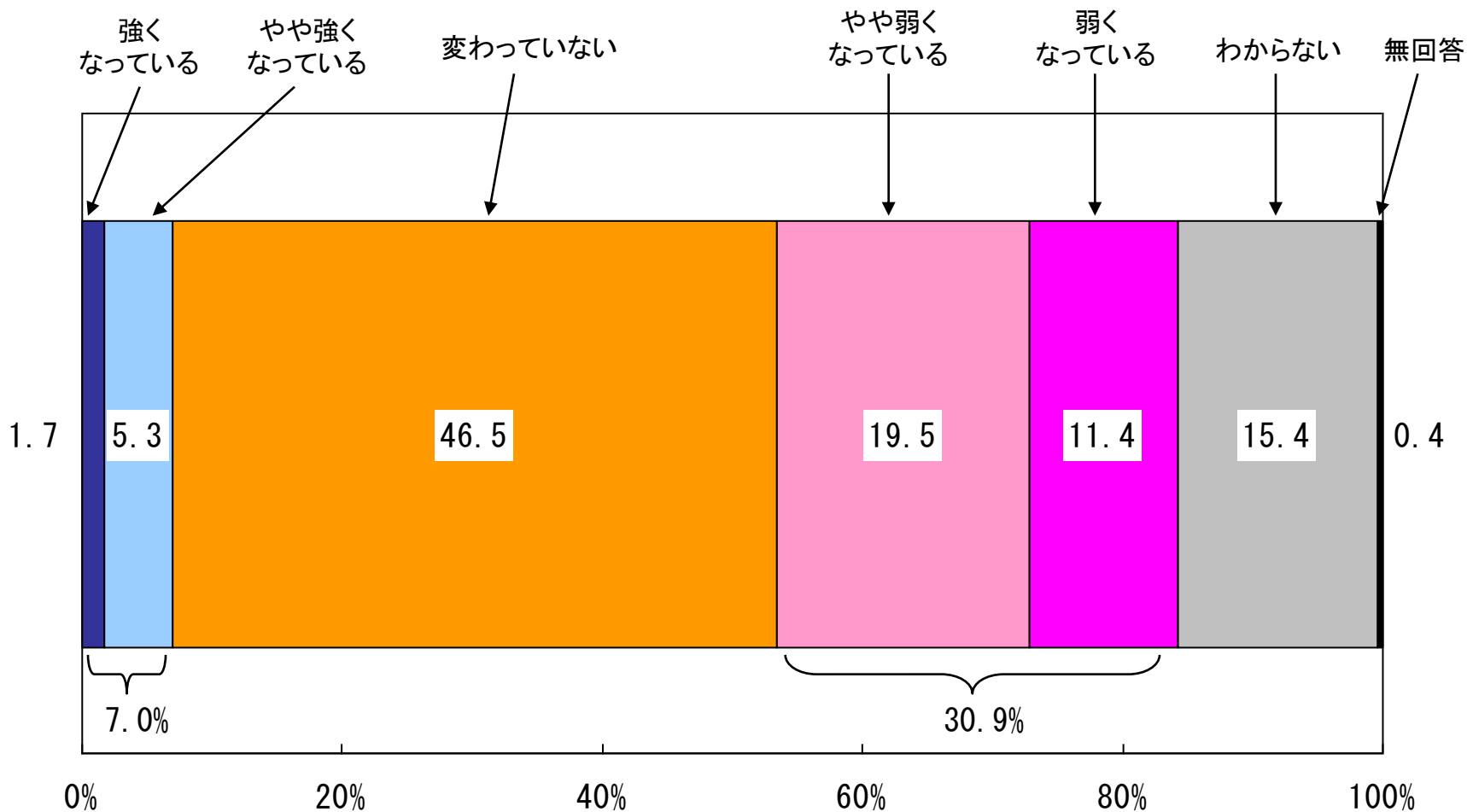
出典：福井市資料



出典：福井市「自治会に関するアンケート」

10年前と比べた地域の「つながり」の変化

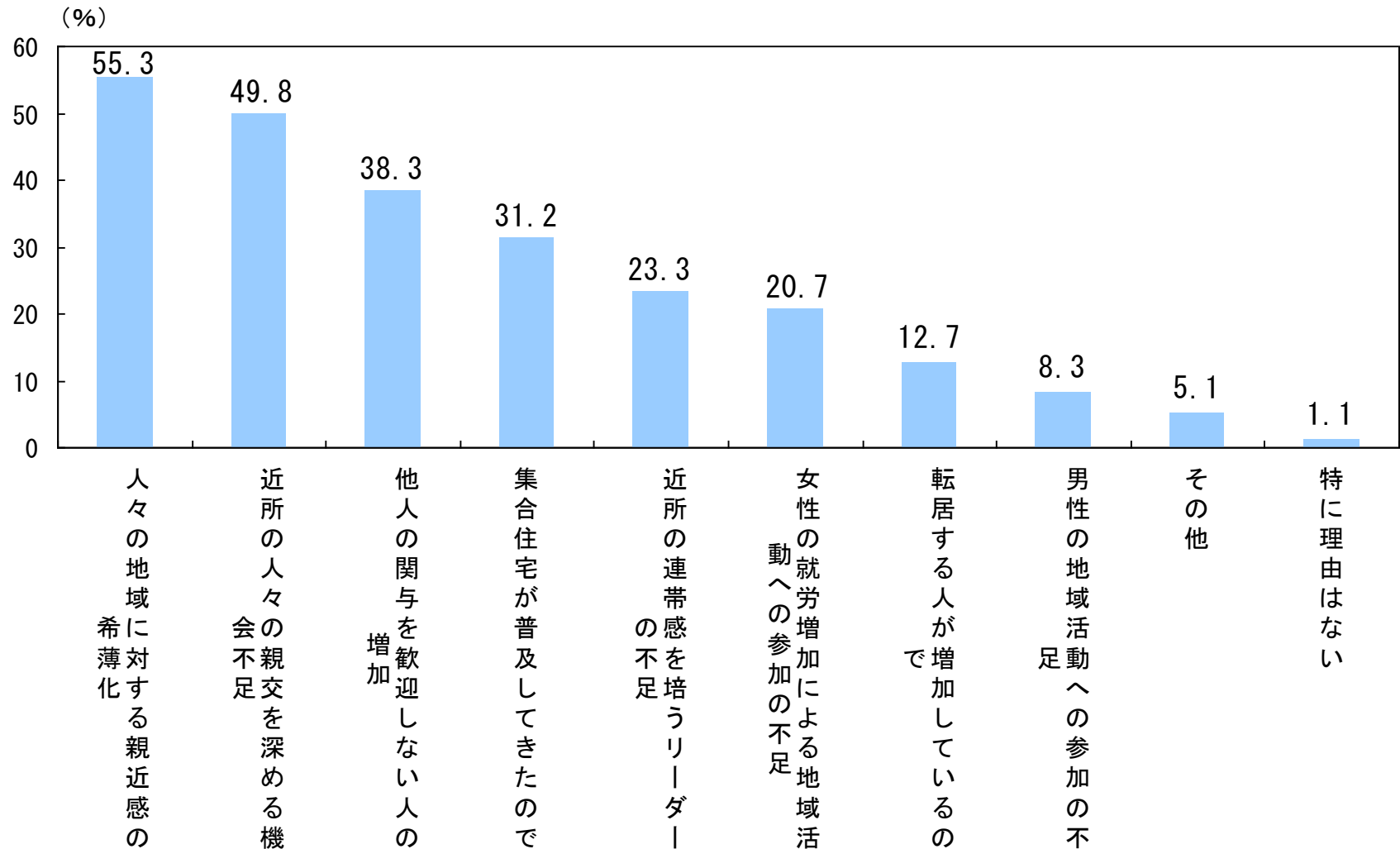
3割以上の人々が10年前と比べ「地域のつながり」が弱くなったと回答。



出典：内閣府「国民生活選好度調査（平成18年度）」

地域のつながりが弱くなった理由

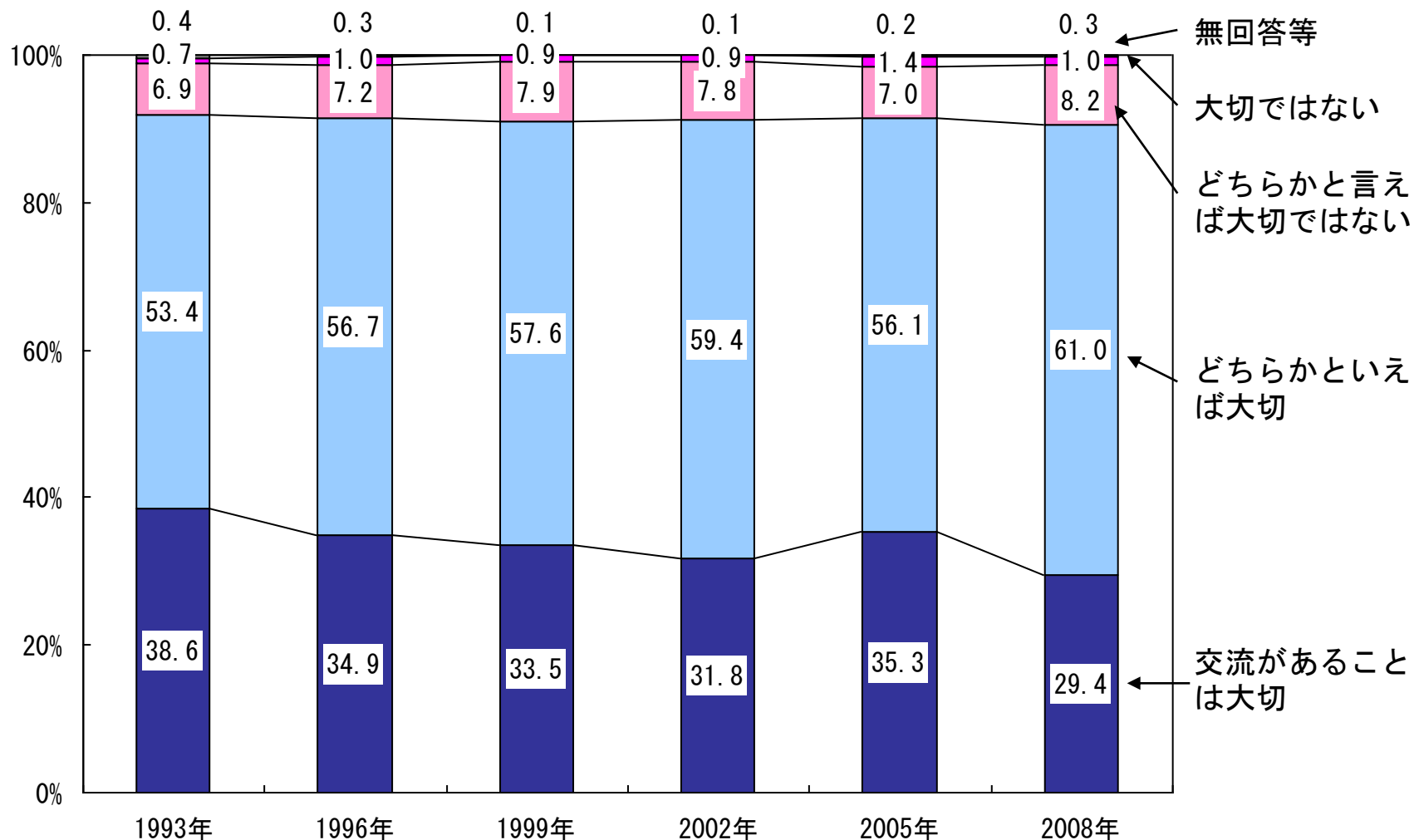
地域のつながりが弱くなった理由として、「地域に対する親近感の希薄」や「人々の親交の機会不足」が上位の理由となっている。



出典：内閣府「国民生活白書（平成19年版）」

地域の人々との「つながり」に対する意識

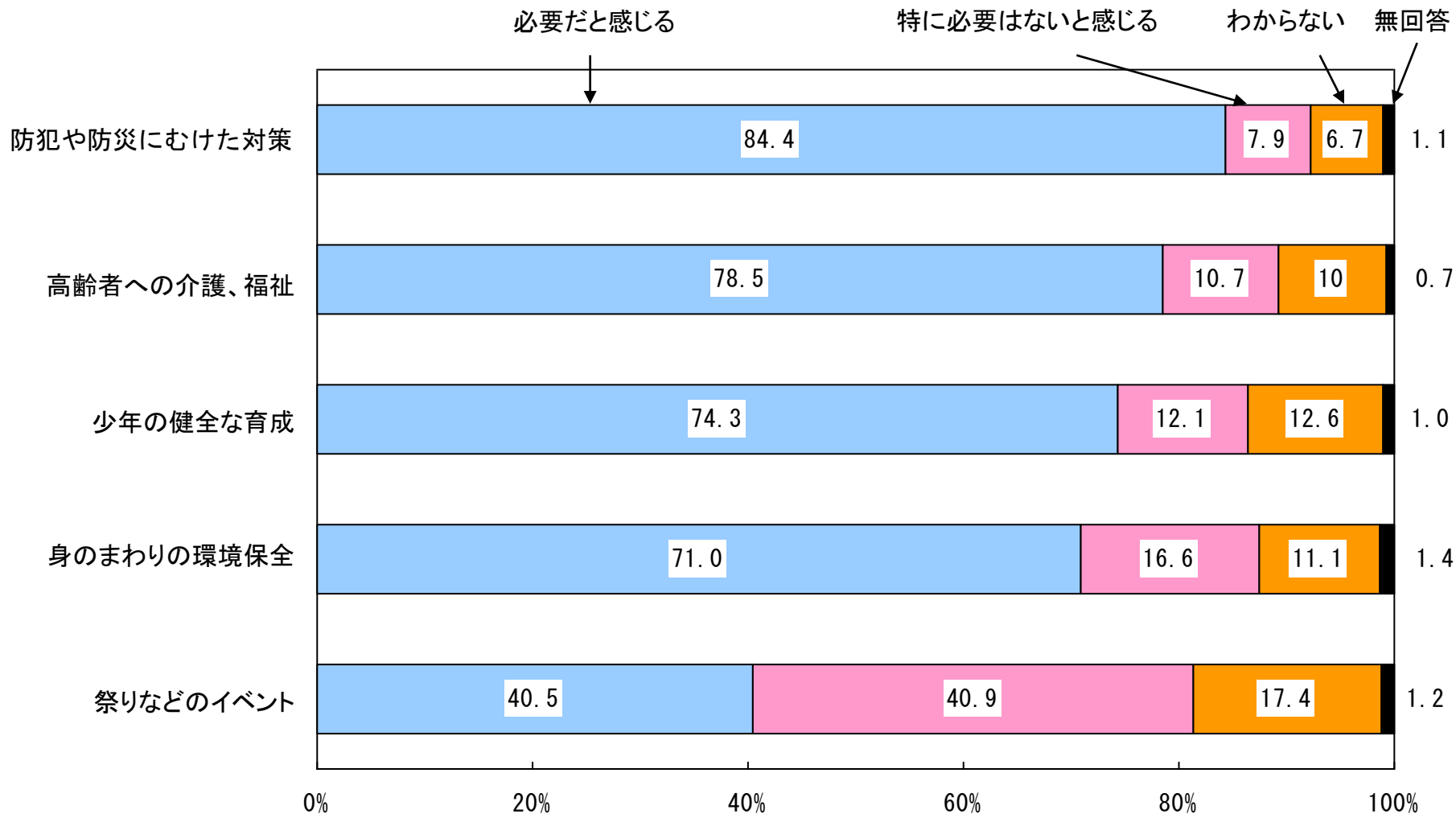
約9割の人が地域の人々との交流が大切だと感じている。



出典：内閣府「国民生活選好度調査」

地域の「つながり」に期待すること

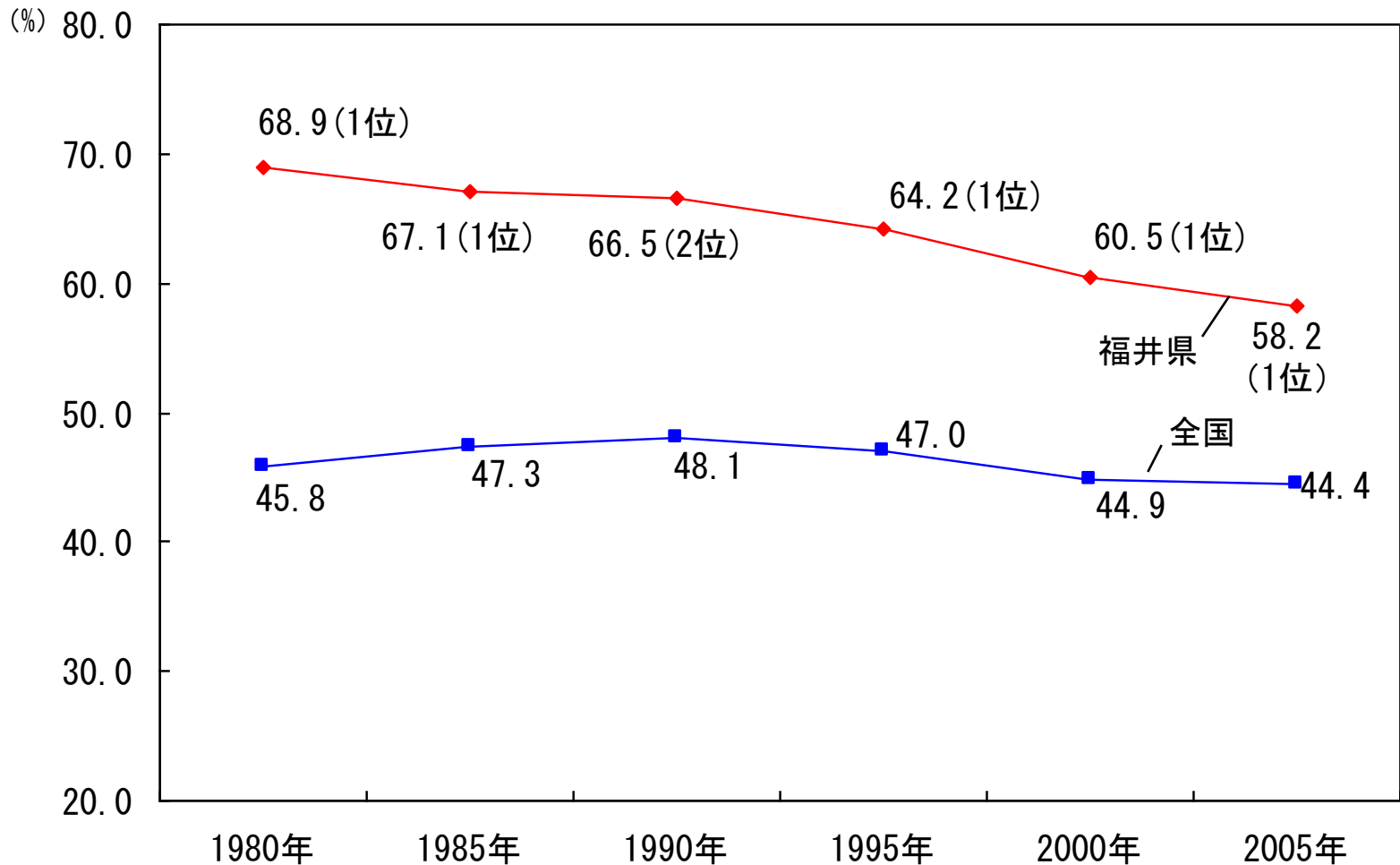
防犯・防災、介護・福祉などの分野で地域の「つながり」への期待が高い。



出典：内閣府「国民生活選好度調査（平成15年度）」

福井県の共働き率

福井県の共働き率は、58.2%で全国第1位（2005年）である。
※共働き率：夫婦のいる一般世帯数に占める共働き世帯数の割合

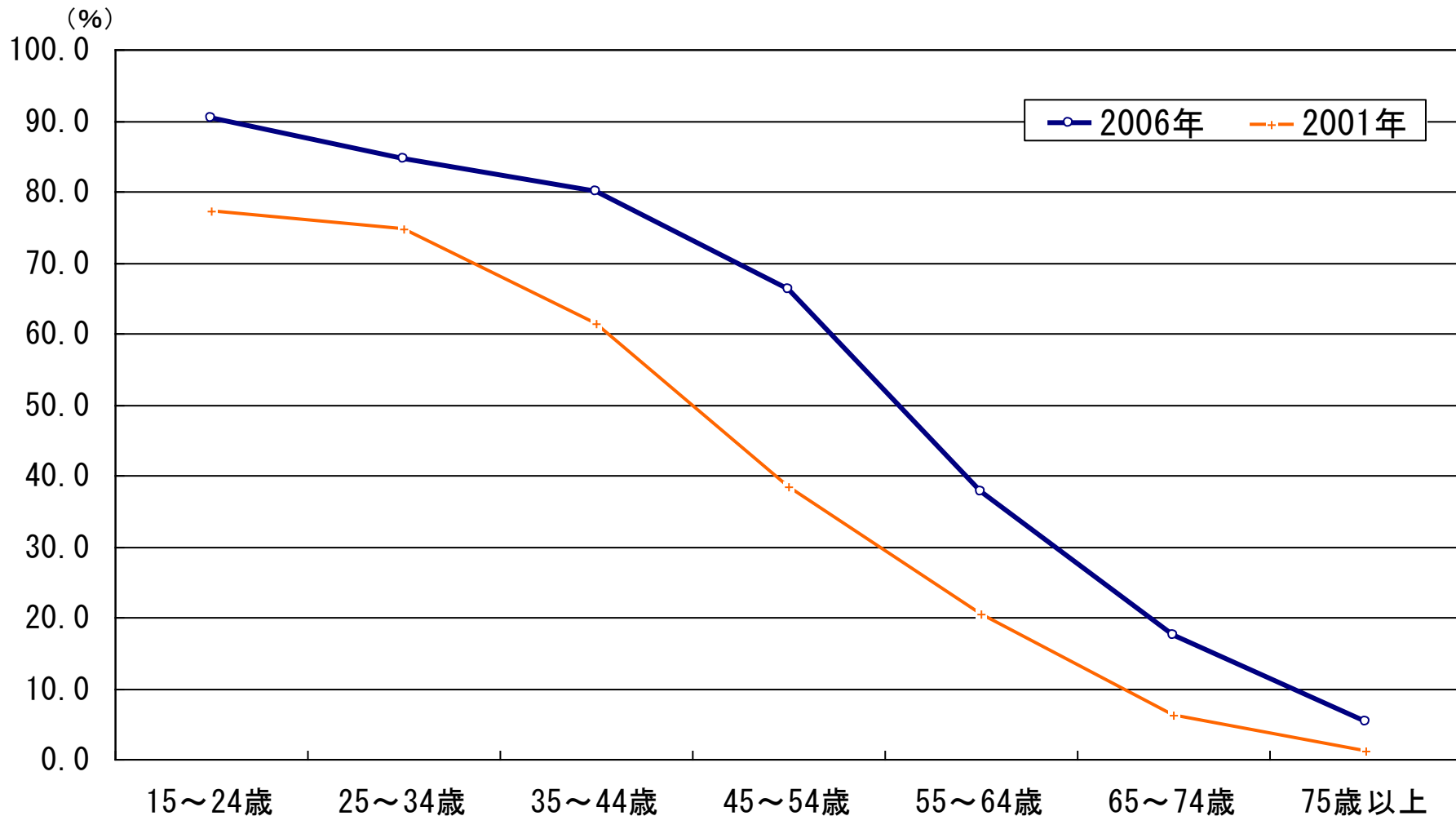


出典：総務省「国勢調査報告」

「新しいコミュニティ」の形成と その役割

福井県のインターネットの行動者率

過去1年間に「インターネット」を利用した県民（10歳以上）は約401千人、利用率は55.7%（全国59.4%）で、2001年（43.1%）と比較して全ての年齢層で大きく増加している。

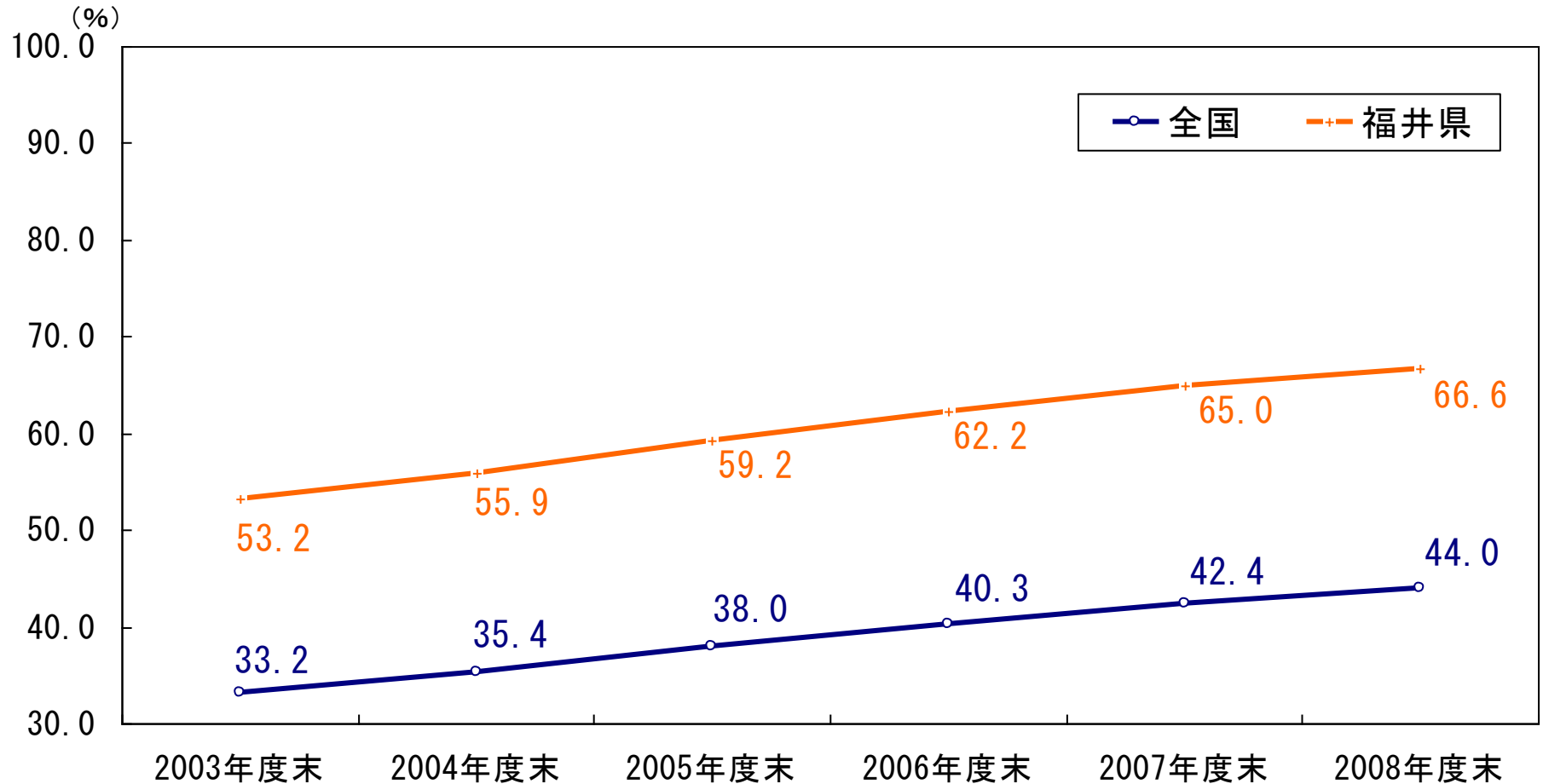


出典：総務省統計局「社会生活基本調査報告」

福井県のケーブルテレビの世帯普及率の推移

福井県のケーブルテレビ世帯普及率は高く、全国値を大きく上回っている。

※2008年度末全国第4位

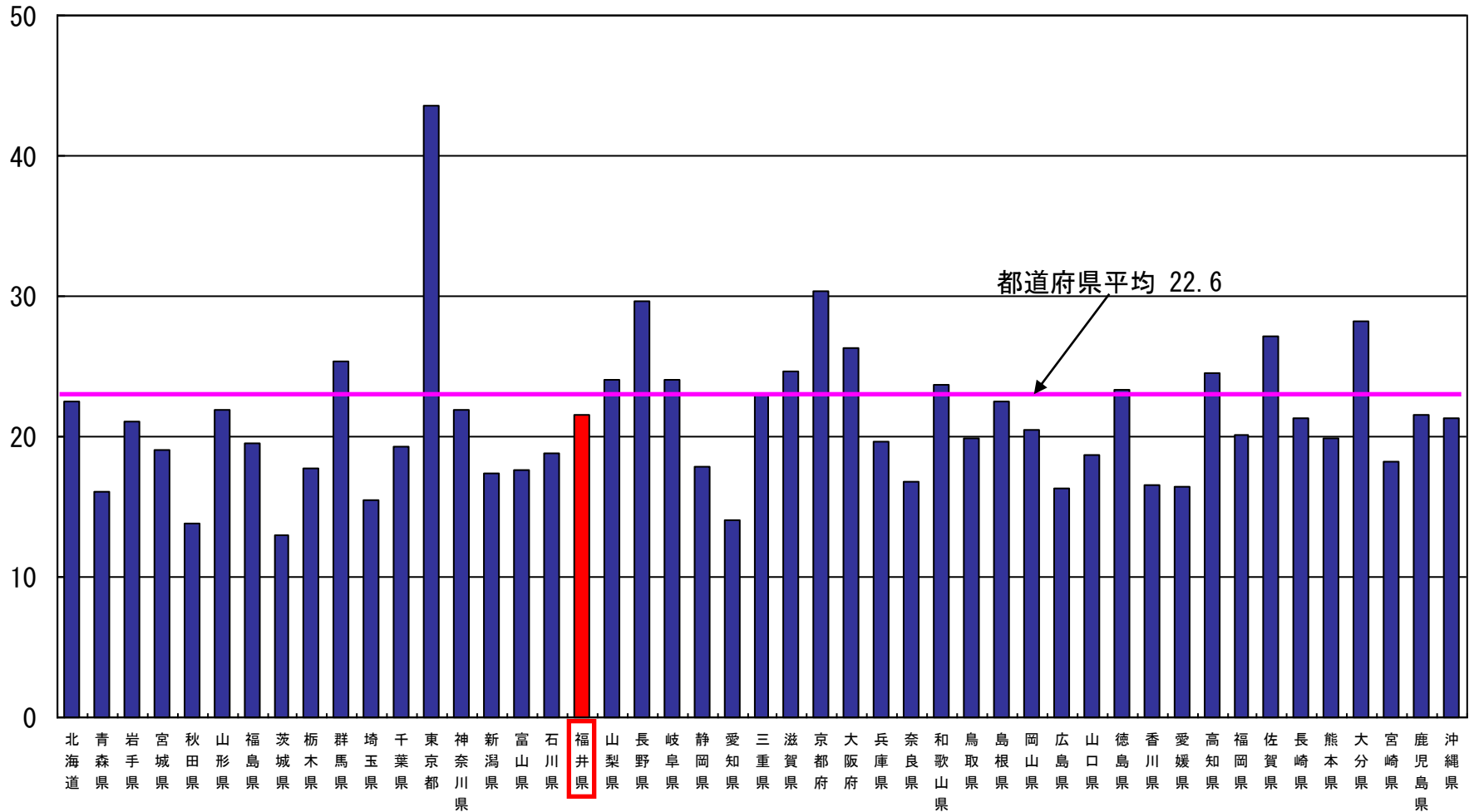


※普及率の算出には、住民基本台帳の世帯数を使用

出典：北陸総合通信局調べ

都道府県別NPO法人の認証数（人口10万人当たり）

2007年の福井県のNPO法人認証数は人口10万人当たり21.6で全国第19位である。



出典：内閣府「国民生活白書」、総務省「住民基本台帳人口」